京城日報
二十三日夕刊
定價　一部金二錢五厘　一ケ月金五十五錢
廣告料
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

◎廣東省議會北伐決議

廣東省議會は北方征討軍組織を決議せり（廣東電報）

◎張勳の行方不明說

張勳氏は十八日の大雨に乘じ一外人と共に自動車にて和蘭公使館を出で行方不明なりとの說あり（北京特電）

◎又復露都の騷擾

救援隊に銃火＝獨探の煽動か

露都發公報によれば七月十七日武裝せるクロンシュタット陸海軍兵其他諸所の豫備聯隊機關銃隊等は「臨時政府を倒せ」「閣員を免黜せよ」「資本家を倒せ」「總ての權力を勞兵會に奪取せよ」と大書せる旗を押立て非常の勢ひを以て露都に襲來しタウリーチェスキー宮殿を包圍しチエレテリ遞相を捕縛せんとしチエルノフ農相を捕縛せり（間もなく釋放せらる）他の閣僚は露都軍管區司令部に在りて非常鎭壓手段を講じパウロフスクの近衞步兵六聯隊其他を呼び寄せたるが其の一部は宮殿內に包圍せられたる執行委員救出の爲めに赴く途中敵の銃火を浴せられ可成の損傷を受けたるも群集は間もなく退散し夜に入りて漸く靜穩に歸したり政府は再び混亂の起らんことを慮れ萬有手段を講じつゝあるが暴徒の黑幕には多數の過激者及び獨探ある事勿論なり（哈爾賓特電）

◎獨探七百名露國に入る

陸相を暗殺する爲め

獨逸は露國陸相ケレンスキー氏及びプロシロフ將軍を暗殺する爲め七百名の獨探を露國に潜入せしめたり（露都電報）

◎大膳頭更迭

二十一日附左の通り辭令ありたり（東京特電）

大膳頭子爵　福羽逸人
依願免本官
內匠寮御用係被免
任宮中顧問官（高等官一等）
宮內事務官　上野季三郎
大膳頭事務取扱を命す

◎近野少將通過

工兵監陸軍少將近野鳩三氏は二十二日朝釜山に來著したるが同午後六時出港の御用船須磨丸にて歸東の途に就く（釜山特電）

◎保科子爵通過

總督府技師保科子爵は二十二日朝釜山に來著し絡船壹岐丸にて直に東上の途に就けり（釜山特電）

◎河內山事務官歸鮮

總督府事務官河內山樂三氏は二十二日朝入港の連絡船新羅丸にて釜山に上陸午前十時半の列車にて歸任の途に就けり（釜山特電）

◎煙草業者恐慌

大邱附近にては目下煙草の疫病蔓延し同栽培業者は大恐慌を來し居れり（大邱特電）

◉滿洲の銀建論

益々優勢を加へ來る

曩に全國商業會議所聯合會が關西五大會議所の提案に係る滿洲の幣制改革及び之れに伴ふ金建案を問題としてより此方大連方面にては輙かに銀建論優勢を示し來り取引所、信託會社並に之が關係筋の人々は一切金建の實行困難と銀建の實際上必要且有利なるを提唱して止まず大連商業會議所は即ち銀建の實際上止むを得ざる所以と金建の實行困難とを決議し竟に委員を上京せしめて聯合會の仔細を說明せしめたるが今その銀建必要の理由は

（一）日本人の如く政府を信認して紙幣を受授する國民ならば金建可なりと雖も支那人は日本人とその國民性を異にするを以て今俄に滿洲の取引の全部を金建とせば種々の混雜を生じ殊に金銀の差額著しき今日之れに乘つて一時に必ず硬貨の取付を開始すべく其の危險自から明白なり故に滿洲にては依然金銀兩建とし正金銀行をして引換銀票を發行せしめ之れに强大なる信用を附し以て危險を防止するに若かざるなり

（二）若し金建を强行せんか其の結果は金票を相場的に取扱ふこと今の露貨の如き結果を生じ其の弊害寧ろ現在に比して一層甚だしきものあらん露國の留貨は成功の如くに見ゆれど其實非常の失敗なり今日露貨百留が銀の三十四五兩と交換せらるゝは即ち其の結果にして露國政府は之が爲めに頗る苦痛を感じ居れり今若し强いて金建を行はんか今日の趨勢を以てせば金票は銀の八十圓位に貶價せられ而かも紙幣の百圓は金硬貨に對し二、三割方低價に取扱はれ我國貨幣の信用を害すこと恰も今の露貨の如くならん

（三）實際上極めて必要なる且つ取引に何等の支障を感ぜざる金銀兩建を幣制改革といふ抽象的理由の下に一期にして破壞するは決して堅實なる策にあらず戰役以來我軍の活動に莫大の助勢を與へたる軍用銀及び鈔票を一期に廢棄するは寧ろ滿蒙經營の大計を誤まるものと言はざるべからず

各方面に於て次第に優勢を加へ來りつゝあり（大連）

◉日露貿易杜絕せん

露西亞の外國爲替禁止實行

松田銀行部長　木原小平氏談

露國の外國爲替禁止に付入京せる木原浦鹽松田銀行部長の談によれば露國の

▲外國爲替禁止 は外國への爲替取組み並に外國にある人及び團體若くは其の露國內に於ける代表者の計算にて留貨の受入並に右受入れ及び爲替を要する義務を負ふ事を禁ずる趣旨にして去る十七日より浦鹽に實施を見たるに付從つて松田銀行は絕對に日露間及び浦鹽ハルビン間の取組み爲替を中止し居れり然も浦鹽經由日露貿易の爲替仲介機關は吾が松田銀行部一行のみに付松田銀行部の爲替取組み停止は乃ち浦鹽經由日露貿易の杜絕を意味するもの事態頗る重大にて實に浦鹽在住邦人四千弱の安危に係る大問題なれば頻りに其の善後策を講究し居れり唯前述の如く外國爲替の禁止は貿易杜絕となるため之れを正面より見れば吾が政府より露國に對し

▲强硬に抗議 すべき餘地あるに似たれど該禁止令中特に大藏大臣の許可したる金融機關は之れを扱ひ得との條文なり乃ち絕對的の禁止と認め難きため國際問題となし能はずとの事なり唯然らば大藏大臣より外國爲替取扱指定銀行を露國內に設けたるやと云ふに今日の所未だ其の指定をなさゞるもの〻如く現に浦鹽の如き一行も之れなし予は今後本店たる鮮銀と協定の上（一）爲替取扱の解禁迄殆んど閉店に等しき位浦鹽銀行部を縮少するか（二）相當の方法にて浦鹽の爲替取扱銀行として指定せらるべきやう方法を講ずるか（三）他に尙ほ一策ありされど（一）（二）の指定銀行たる事は日露貿易の持續上には可なるに似たれど銀行としては諸種の束縛を受くる事となり面白からざる節あり此際の處置としては

▲課稅の苛酷 なる等の關係もあり第一策の銀行部縮少を賢なりとすべきか然も之れとて大問題なれば容易に決すべからず何れ近く何等か形附くべし更に露國が何故かゝる禁令を出せしかと云へば全く同國財政上の關係にて留價格下落の防止策等主なるものなれど更に又革命以來勞働者兵士の權力非常に强く共產主義實行の噂あり爲めに資產家の恐怖を惹起し結局資產家は銀行に其の資產を依託し身は外國に赴き小切手を外國銀行に放資するもの頻々たらしく從つて露本國銀行は

▲外國銀行 の取付を受くるもの多きため其の防止策も理由の一たるべしと觀測されざるに非ず又浦鹽在留同胞の如きは外國爲替利かざるため旅行も出來ず商品も引けざる始末にて困却し居れり兎に角一日も速かに其の何等か最後の決著を見出さしむる必要あり云々

◉白水少將動かん

八月一日陸軍將官以下に定期大異動ある由なるが故參少將たる白水軍參謀長は中將に陞進し某要職に補せらるべしと聞く

◉二視察團入京期

廣島縣立高等師範學校視察團職員生徒一行十二名は二十三日午後九時南大門驛著入京二日間滯在愛知縣教育會視察團一行廿三名は二十四日午後五時卅八分平壤より入京京城、仁川視察の上二十六日午前八時三十分發列車にて南行和歌山縣教育會視察團一行二十五名は二十五日午前九時入京一泊の上二十六日午前九時十分發列車にて滿洲に向ふべく右三視察團は孰れも不知火旅館に投宿すべし

◉小學校教員講習會

京畿道公立小學校教員夏期講習會は廿一日より八月四日迄南大門小學校に於て開催午前七時より正午迄五時間と午前七時より午後三時迄七時間と隔日に開催する事となり目下の會員は京城府內百二十八名府外二十名合計百四十名なりと

◉天寶鑛山近狀

經營者　濱名寬祐氏談

滿洲太興合名會社の經營中なる天寶山銀銅鑛合辨人濱名寬祐氏は二十日朝連絡船新羅丸より上陸釜山通過奉天に向ひたるが同氏の談に因れば天寶山銀銅鑛の所在地は間島に在りて之を去る十年前日本人某氏の發見する處となり其筋の許可を得て採掘に著手せしに間島領土問題日支間に起り同地の支那官憲は利權回復のためと稱し同鑛山に出兵して採掘中止を迫り同鑛山の採掘權を放棄すべく强請し日支外交上の問題を喚起したるより以來兩政府の懸案となり居たりしに昨年北京に於て支那人劉紹文（湖北人）と合辨し合同經營を爲すべく支那政府に出願し許可を得たるを以て資本五十萬圓を以て太興合名會社を組織し種々の權利を獲得し昨年七月より數百名の鮮支人の鑛夫を入山せしめ採掘中なるが成績は頗る良好にて精煉の結果六十パーセントより二十パーセントの品位を得たり鑛區坪數は六十滿里四方にして鑛量は未だ探鑛を終らざれば知るを得ざれども其量少なからざる見込に因り近く蒸汽機關を据付大規模の採鑛を爲す計畫中なり而して表面に於ては日支合辨なるも資本は殆ど日本人の手にて出資し居れり（釜山）

◉府稅務課の劃策

京城府稅務課にては先般來徵稅成績の擧がらざるに鑑み徵稅の方法を考究し賦課の適確を期すると同時に一方府民一般に納稅の義務的觀念を普及せしめむが爲め種々畫策する所ありしが第一著手として昨今學校組合費戸別割に就き年額十六圓以上を納むるものゝ人員及び督促狀況等を調査せし所大正五年度中戸別割年額十六圓以上の納稅者總數二千二百七十五人內督促狀發布前完納者一千三百二十四人一回或は二回督促狀を發付せしもの三百六十八人三回若くは四回督促狀を發付せしもの五百八十三人を示せり組合戸別割年額十六圓以上を納むるものは月額百圓以上の收入を有するものにして寧ろ社會の上流に立つ人士と云ふも不可ならず之等階級の人にして一年三回若しくは四回の督促狀を受くるが如きは既に所謂怠納常習者と云ふべく相當地位ある人の所爲とも覺われず然かも納期限迄には少くとも二週日內外の日子を餘すあり月收百圓以上のものにして此間金策不如意とは受取れず全く怠納にして唯だ納稅上の誠意を缺くものと云ふの外なし依つて之等怠納者に對しては爾今相當の處置に出づる方針なりと當局者は語れり

◉撫順製煉所計畫

久原鑛業會社に於ては曩日奉天に分析所を開設したるが滿蒙鑛業開發の機運に鑑み撫順に一大製煉所を創設するの計畫熟し同地に於けるモンド瓦斯擴張の完成するを待つて直に之が創設に著手すべしと（撫順）

◉鮮人に歸化强制

琿春縣地方に於ける支那官憲は巡警及び保衞團兵等をして絕えず移住鮮人の村落を巡回せしめ常に歸化を勸め居れるが昨今に至りては益々甚しく殆んど强制的に歸化せしめんとし萬一歸化するものは執照票を交附して安全に農業に從事する事を得しむるも若し歸化を肯んぜざるに於ては縣內に在留するを許さず直ちに放逐す可しと脅迫しつゝあるに依り之を機會とし同地方の排日鮮人等は組合設置に反對を唱へ各所に於て煽動しつゝあるを以て近來組合支部にて支部費の不納者續出し之が維持に困難を感じ居る模樣なり（安東縣）

支那時局雜話（上）

在上海　鵠鴻生

○支那のことはわからないとよくいふ、何故わからないか。凡て主義綱領に頗著なく、勢に從つて動くからである。

○黎大總統が思ひ切つて段祺瑞を罷職したのは相當の成算があつたに相違ない、其後の經過から見ても王士珍、曹錕等直隷系と多少の疏通があつたとは明かである、然も勢大總統に非にして、遂にあのやうなことになつて了つたのである。

○張勳の復辟も、今から見れば隨分突飛なやうだが、もとを遡つて見れば相當の根據があつたに相違ない。徐州會議や天津滯在中の運動で各方面と一通りの連絡はつけてあつたであらう、然し勢は意外にも彼に不利だつたのである。

○段祺瑞が今度蹶然起つて討逆軍を起したのは非常な英斷で、大いに共和の爲に奮鬪するものゝやうに見はれるが事實は豐台の統領馮玉章等が起たので、勢に乘じたものゝやうに思はれる。馮國璋が復辟反對を聲言したのは無論段等の態度を見てからのことである。

○かう考へて來ると、支那のことがわからないといふのは結局其の勢の趨くところがわからないのだ、勢の跡を訪ねて見れば如何にも尤もの次第で別に不思議も何もない。

○さてこれから時局はどうなるだらう。支那の豫言ではもう懲り〳〵してゐるからだまつてゐやうと思ふのだが矢張り云はずにはゐられぬ、此處が支那の面白いところなんだらう

○張勳も自分の要求がいれられなければ最後の決戰を試みるまでだなんて今になつて意外に頑張つてゐるが先に徐世昌か誰かの仲裁で、生命財產の安全位は保ち得ることになるだらうが、それにしてもあれ程武名天下に鳴り渡つた張勳が殆ど戰らしい戰もせずにヂリ〳〵と退却して了ふのつまりは降參と來たのはどういふ譯だらう、兵力からいへば今のところ大した懸隔もないらしい、それに大人しく降參するといふのは恐らく、現在の兵力はとも角、大勢彼に非なりと見たが爲ではあるまいか、從つてあんまり無理をいへば、窮鼠猫を嚙む流義で一騷ぎ起らぬとも限らない。

○所謂南方派は、張勳討伐はそつちのけにして早くも、段祺瑞攻擊をはじめてゐる。段內閣の顏振れを見たち南方派としては無理もない、彼等の言ひ分によると、張勳討伐の首動者は決して段ではない、馮玉章、林長民、曹錕等が起つたので之に參加し、古顏の故に推されて總司令になつた迄で彼自身は手に一兵を有つてゐた譯でなく、討伐の決心があつた譯でもないといふのだ

◉京奉線聯絡

霖雨出水の爲め不通なりし京奉鐵道は新民、白旗堡間は出水減退して已に通車するを得るに到りたるも石山站、大凌河間十五哩は當分復舊の見込なきを以て奉天よりの發車は石山站迄、又北京よりの發車は大凌河迄各進行し兩地點間は徒步にて聯絡を取る事としたりと（奉天）

◉大連より啓上

二十日　通信員

▲滿鮮統一時期 滿鮮運輸統一案は樞密院にて改正の結果同院を通過し愈よ近く實行せらるゝ由にて滿鐵に於ては八月初旬より委任經營の用意中に見受けられ申候、關東都督の權限が狹められたるは當然のことなるも滿鐵會社は幾分資格を引下げられたるが如き結果と相成り候、但し名を避けて實を收むるは會社經營の方針に有之候其の點より申せば却て健實の發展期に入りたるものと被存申候

▲空前の大豆戰 大連重要物產取引所に於ては前月末以來大豆の取組次第に增加し先物八九十の三箇月取組高四千餘車（十二萬噸）に昇り申候處、現在埠頭の在庫品は一千車（三萬噸）しか無之、而も四圓三十錢の相場より漸次激騰して五圓五十錢に至り、若し此儘放任せんか六圓七八圓に至るべき害行に有之、而して買方全盛はまだしも賣方より信託會社へ納入すべき證據金納まり兼ねる樣にて或は信託破產の運命を免かれざる形勢と相成り候爲め去十六日立會を停止し數日間協議の結果買方の驍將臼井熊吉（仲買人）に對し營業停止を命じ賣方中證據金不納のものに對しては同樣營業停止の上其の建玉を處分し四圓六十六錢てふ指定値段にて强制解合を命令致候ところ買方は中々承知せず臼井の買玉を全部鈴木へ廻して鈴木は依然買瀨切りの方針を改めず、其れが爲め賣方の前途頗る暗澹たるもの有之、愈よ八月十五日の受渡期近に迫らば如何なる大爆發を爲すべきか殆んど想定せられざる勢ひを呈し來り申候、之が爲め取引所及び信託とも聊か頭痛鉢卷の有樣にて此處一二箇月は大に警戒を要し申候。

▲大連地方の雨季 久しく旱魃に惱みたる滿洲も本月十一日以來大降雨あり旬日を經たる今日尙且つ天候恢復せず大連市の如きは旱魃の反對に霖雨に惱み居り申候。多分此霖雨季に入るべく例年よりせば少し早過ぎるの感有之候へども約一箇月は雨季繼續可致か、其れか爲めにや市中は昨今赤痢其他傳染病發生の兆有之恐慌を呈し居り申候、匆々。

地方

光州

▲廣瀨經理部長 軍經理部廣瀨主計監は石井川北兩主計を隨へ十八日夜入光十九廿兩日に亙り光州憲兵隊守備隊の經理檢査を行ひたる上廿一日朝全州へ向け出發したり ▲竹細工講習會 本道にては昨年小學校及普通學校訓導を召集して第一回竹細工講習會を開き其成績頗る良好なるより更に本年も本月廿二日より管內小學普通兩訓導廿二名を召集して光州光山館にて竹細工講習會を開會すべし ▲綾田技師送別會 今回本府農商工部へ轉任せし本道技師綾田豐氏は本道農事改良に盡したる功績尠なからず爲めに光州官民多數は廿一日午後七時より西村樓に於て送別會を催し惜別の意を表したり ▲輕鐵發起人會 光州實業家を以て發起されたる光州松汀里間の輕便鐵道敷設は十九日發起人會を開きたる上愈々專門家を招聘して調査に著手する事となりたるが道當局に於ても極力之に便宜を與ふべしと

清津

▲粟輸入增加 米價の暴騰に伴ひ比較的廉價なる粟は一時南鮮米に壓倒されしも鮮人間に再び需要さるゝに至り先月來間島及び琿春粟の鮮內に輸入さるゝもの夥しきが六月中粟の清津輸入數量は間島粟三千二百八十一石價格四萬二千六百六十一圓琿春粟百八十六石二千五百五十一圓計三千四百六十七石四萬五千二百十二圓に達し本年四月以降の輸入粟累計は四千二百九十石價格五萬四千二百六十九圓を算せり而して輸入粟の一部は當地方人に需要さるゝも大部分は元山城津西湖津釜山浦項等の南方に仕向けらる六月中に於ける市價は上十三圓五十錢中十三圓下十二圓五錢なり ▲旱天害虫發生 本年北道各地は旱天の爲め各種の害虫發生し被害少なからざるが最近鏡城郡龍城面漁遊洞の畑地一帶に蝗に似たる害虫發生し粟を喰害する事の夥だしきより道當局に於て調査したる所該蟲は飛蝗の一種にして最近本道に發生したる事なく北海道臺灣には從來發生を見た事あり而して該蟲は卵にて越年し六月頃に至り孵化するものにて一度發生を見るか附近一圓の農作物を喰盡し其通過地は忽にして收穫皆無に至り慘害を逞ふするものなりと目下當局にては農民を督勵し驅除に努めつゝあり ▲上半期貿易 本年一月より六月まで上半期城津港貿易は輸移出百四十七萬七千四百二十圓輸移入五十一萬九千三百四十圓計百九十九萬六千七百六十四圓にして之を前年同期に比するに輸移出に於て百九萬四百二十三圓（約四十割）輸移入に於て十八萬六千八百四十九圓（約五割）計百廿七萬七千二百七十二圓（約十七割）の大激增を示せり而して輸移出に四十割の激增せるは黑鉛乾鰮等の生產增加並に價格の騰貴等にも因ると雖も甲山銅塊の新規移出百八千四百餘圓に達したる實に其主因なりとす次に輸移入に於て增加を示せるは朝鮮一般を通じての貿易經濟界の好調に因る事勿論なりと雖も當港附近に於ける鑛山業漁業勃興等の特殊原因に因る事亦少しとせず

人事消息

▲富塚大佐（步兵七十九聯隊長）廿二日午前入京
▲城數馬氏（京城覆審法院長）廿二日朝元山へ
▲中村技師（農商工部）廿二日朝釜山方面へ
▲カーチス氏（京城米國副領事）二十二日午前水原へ
▲保科子爵（總督府技師）二十一日午後內地へ
▲岡村左右松氏（日韓瓦斯重役）▲大杉臣次氏（同社員）二十二日朝入京巴城館へ
▲松岡直温氏（鎮南浦鑛山業）同上天眞樓へ
▲森作太郎氏（大阪辯護士）同朝離京
▲大塚榮氏（滿鐵經理主任）同上

海雲臺から東萊へ
海と山と温泉に(四)
□□嘆美すべき自然生活□□
□□美しく咲く海濱草!!□□

海雲臺一帶の海岸には流れ入る大河が無いから海水は頗る濃度の鹽分を含んで居ると聞いたが嘗めて見ると如何にも苦いやうな強い鹹味がある海水浴場としては理想的で朝鮮にも內地にも容易にこんな海はないといふが成程そうかも知れぬ私はまた

◇◆◇ 岸に上つて奇麗な貝殼を拾ひながら

波打際を時々足を濡らされながら孤雲峰の方へ歩いて行くと其處に漁師の一群が網を干して居た聞くと昨晩曳いた網だそうだ『漁が有つたか』と聞くと『モゥ此の二三日來大漁で濟は近來にない豐年です』と眞黑の老人がニコ〳〵しながら『お客さ――今日來たんですぱ、そんならあ今夜來て網曳をご覧ざい、大鍍に取れますぱ』私はそれなら今夜是非網引きを見せて貰ひたいと約束した『誰が來ても構はしれへで、誰が來て一籠でも二籠の鰯つ子摑つて〻も構はしれねで』とお爺さんは人の好い笑方をして居る網を引張つて干して居る若い衆は褌一つせずに

◇◆◇ 炎天の灼沙の上で眞ッ裸で働いて居る

體中の筋肉がクリ〳〵と發達して皮膚がハチ切れそうに肥り太つて居る私は其處に眞の男性美を發見した能きる事なら斯んな生活をして見たいと思つた彼等の生活こそほんとうの自然生活だ漁の有る間は二日でも三日でも立て續けに働く、漁の無い時は形ばかりの衣類を肩に引掛けて毎日でも遊んで居る獲物は網主と半分半分に分獲る事に成つて居るから一ト月に二晩も漁が有れば彼等の生活向きは一家妻子を安樂に糊口して行ける此海岸は

◇◆◇ 日に一回の暖衣飽食は何時も夜曳

ものに極まつて居るそうだ『今夜は乾度見せて貰ひに參ります』と約束して向ふの方へ行くと漁場はそれからそれへと續いて皆な網を沙の上に干して修繕を爲て居る一度引くと五つや六つの傷み場所は必度出來るそうだ、去つて松原の中に這入ると枝と枝とをさし交はした若い茂みには流石に強い海岸の日光もさし入らず冷々とした重い空氣がシツトリと其の中に籠つて居る、土は海岸と同じやうな眞ッ白に綺麗な沙で其の上に濱晝顔や武者龍膽、濱防風、花胡蘿蔔などの海濱植物が

◇◆◇ 美しい花を着けて居る武者龍膽

の花は大きくて一面に咲き續いて居る愛らしい花胡蘿蔔も澤山にある濱晝顔は少し盛りを過ぎて居るがそれでも砂の中はそこらに咲きいで濱防風の白い花はさして美しくないが海濱植物中の藥草として知られて居るものである此の海岸には殊にそれが多く生じて居る(於海雲臺勝村生)

大漁の翌日 海雲臺にて

●露人の義賊
汽車を停めた上巨額の金を奪ふ

黑龍江畔ネルチンスクの近傍にリオノブと云ふ有名な露人の馬賊が居るが何時も部下の三四百名は直働かすだけの準備はしてあるが慾深い富家を手酷い目に合はせる丈で普通の民家には決して仇をしない爲め頗る地方の民心を得て居るのみならず相當學問のある男だから自ら義賊と稱し地方官が何か人民の爲めにならぬ事をすると抗議を申し込み聞かなければ忽ち

▲手酷い目に 合はせるので頗る人望が高く官憲も何うする事も出來ないさうだ先般も兵士巡査が五十名許り乘り込むで護衛して行つた汽車を僅か三十名許りの部下を派遣して停車せしめた上巨額の金を奪つたが護衛兵は人數が多かつたに拘らず後難を恐れ手を束ねて爲すが儘に委し官憲もリオノブの部下の行爲たる事明瞭であつても知らぬ顔をして居る然るに此の勢ひの強いリオノブが頗る親日主義であるが

▲其の因縁と いふのは同人が曾て赤痢に罹り露西亞の醫者にかゝつたが何うしても癒らなかつた際日本の醫師に見せた所早速全快したので爾來日本人を有難がる事一方ならず同地方の露國官憲が何か日本人を壓迫するやうな計畫をして日本人が困つて居ると早速出掛て官憲を脅しつけ撤回させるといふ始末であるサタの北々西約一週間路程の地點に一寸有望な砂金鑛がある其の附近は人家も全くなく地名もない位であるが其處に近頃新政府になつてから

▲是等の荒い 人間許りが集つて永久的な丸太小屋を作り砂金を採つては時々町へ出て衣食を買ひ込むが何しろこんな恐ろしい人間が住むで居るので露人支那人は元より巡査なども一切寄り付かず偶々寄付けば無論尋常では歸れないが日本人許りは時々平氣で出入りしても一向危險が無いとの事である(大連)

●兇蕃討伐隊
炎熱と戰ふ
死傷病者多し

臺灣新竹蕃界にて行動中の兇蕃討伐隊は熾くが如き炎熱と戰ひつゝ討伐に從事したるが戰死者四十八名負傷者八十六名疾病者三十七名を出したり(大阪特電)

●西管收賄事件
西部鐵道管理局に於ける收賄事件發展し更に贈賄者一名拘引せらる(大阪特電)

●滋賀縣の火災
二十日夜滋賀縣今津町山田岩次郎方より出火全燒二十戶半燒三十戶を出せり(大阪特電)

●兇賊留置場を破つて朝鮮へ
過日御影警察署留置場を脱出せし兇賊脇部章は朝鮮釜山に潛伏せるを突止め同署刑事は右逮捕の爲め同地に向へり(大阪特電)

●米艦水兵 邦人に斬付く
二十日長崎に入港せる米國軍艦水兵中醉酊の末拔劍して邦人に斬り付けたる者あり被害者中高垣爲次郎は遂に死亡せり(大阪特電)

●農民二百名 松葉堰の破壞を企つ
島根縣簸川郡六箇町村の農民二百名は旱魃の爲め不穩の態度に出で松葉堰を破壞せんと企てたり(大阪特電)

●拳銃強盜侵入
二百十數圓を強奪す

慶北尙州郡利安面中村里蔡釿鎭方にては去る十日午前零時二十分頃二名は拳銃を携へ一名は棍棒を携へたる三人組の強盜闖入し睡眠中なりし家人を呼び起し拳銃と棍棒を示して脅迫し金五萬圓を提供せよと強請しつゝ室內を探りて有り合せたる現金二百十六圓九十錢を奪ひ其儘何れともなく逃走したるが賊は何れも年齡三十歲前後にして結髮し笠子を冠り白の周衣を纏ひ草鞋を穿き居たりと、急報に接したる尙州憲兵分隊にては直ちに犯人を搜査したるも判明せず目下各隊署に手配りをなし嚴重に搜査中なり(大邱)

●共謀して毒殺
平北江界郡外貴面乾下洞劉榮澤(三三)は同所金光淳(四〇)方に寄食中光淳妻李氏(二七)と不義をなし其の結束共謀して七月六日支那燒酎にモルヒネを混入して光淳に飲ませて毒殺したること發覺し兩名は江界分隊滿浦鎭派遣所に逮捕さる

●偽造證で騙取
京城齋洞兩班洪範明(四〇)蛮泥洞洪明基(三三)通義洞劉吉洙(三三)黄金町一丁目宿屋崔俊楠(三六)の四名は共謀し本年四月中範明の實父所有の土地家屋を擔保とした借用證書を偽造し之れに同樣偽造の印章を押捺し其の他必要なる書類を作製し櫻井町一丁目西川健次郎より金五百圓を借用名義にて騙取したること發覺して鍾路署に檢擧され何れも取調べの上檢事局に送らる

●赤痢
京城昌成洞百十七白居正徹(一五)は二十二日午前赤痢と診斷順化院へ

●電車と自動車
二十二日午前八時三十五分頃京城黄金町通り永樂町電車停留場附近にて電車八十一號と運轉手小川義雄の操縦し居れる自動車とが衝突せしも雙方共損害及び乘客に異狀なかりし

●三人組の兇賊
慶北慶州郡江東面邱里雜貨商金潤方へ去る十一日午前一時頃何者か侵入して金品四圓七十五錢を強奪逃走せしが犯人は翌十二日浦項分隊杞溪派出所の手にて就縛されしが犯人は迎日郡杞溪面奈丹洞金敬出、慶州郡府內面北部里黄學奉、同紅西面安康里崔根伊と呼ぶ三人組の破落戶強盜にして庖丁を以て脅迫して強奪したるものなりと

雲の峯

●溺屍體漂著
既報十七日午前七時頃龍山漢江人道鐵橋漢江小橋より投身したる電車々掌京城壽松洞百四十二番地咸昌鎬(二九)の屍體は十九日午前九時頃元町四丁目稅關監視所下に漂著し居るを發見し係官檢視の上屍體は實父に引渡さる原因不明なりと

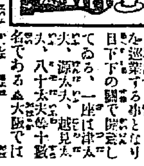
●鮮娼抱主處罰
京城北米倉町二十數軒の娼家にては豫て其の筋より命令しあるにも拘らず各戶共曩きに本町署にて處罰されたる如き無賴の無賴漢前科者等を雇入れ置きたる爲め其の雇主等も本町署に召喚處罰されたり

●橋の代りに溺死
咸南德源郡縣內面三台里東端約一丁を隔たる長林川が數年來の霖雨にて増水し長林寺附近に架設しありたる橋梁の流失せんとするを見たる三台里の韓鳳順(三一)が之れを防止せんと奔走中過つて激流中に辷り込み遂に押し流されて溺死したりと

●夫婦者の溺死
高陽郡知道面士堂里農李永漢及び妻李文任(四〇)は一兩日前他所より歸宅の途中相携へて同面新坪里の漢江支流を徒渉中折柄の增水と滿潮の爲め深水に迷ひ込みて遂に溺死せり

●賀田夫人の訃 永登浦朝鮮皮革會社長賀田直治氏夫人菊子(賀田金三郎氏女)は病氣療養中のところ去十九日東京の自邸にて長逝せり行年三十二歲

●秋田商會出張所移轉 本店を下關に有する合資會社秋田商會は從來市內南山町二丁目に出張所を設け營業しつゝありしが今回營業擴張の爲め黄金町一丁目一五七番地帝國生命保險會社向側に移轉なしたり



▲豐竹路太夫は九州路を巡業する事となり目下下の關で開演してゐる、一座は津太夫、源太夫、越見太夫、八十太夫等十數名である▲大阪では素人の淨瑠璃が每夜各所で催される、多い夜は二十個所もあつて何處も聽衆が一杯だ、さは流石に本場は違つたもの▲或人が紙太夫に『大利害登ィは近來腕前を上げたね』と云ふと『ナーニ稽古の遣り方一つですよ』と內心頗る相▲世話好きで淨瑠璃會と云へば何處へでも顔を出す兒雀君、各師匠や連中を訪問する度に顔の汗を拭きながら『歩くと暑いが、じつとしても居られない』は面白い▲淨瑠璃を始めて間の無い辯護士の吉武君、身體が大きいので聲も大きい、或人が稽古を聞いて『あれで甘く行けば京城一だ』と眞面目に感心

●慾の深い男 山形市七日町生れ武田某(二)は[illegible]より前同樣依賴を受け訴訟代理人に[illegible]領したるを手初めに外七名の債權者の程成興地方法院にて懲役三年の判決を受けしを不服とし京城覆審法院に控訴せり

小十郎、三雲喬三郎、北川五郎助、澤田みよ、田村信次、由良親男、永光榮三、日加平三郎、向助三郎、同きみ子、同與一郎、同榮藏、同三郎、[illegible]

廿一日午後九時釜山入港者[illegible]

[illegible]

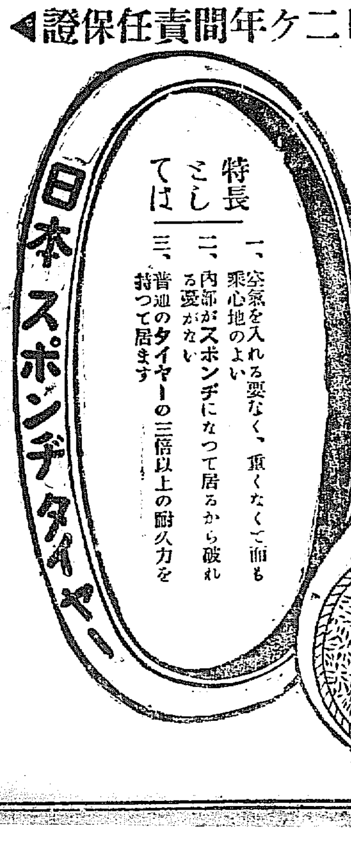
(文藝)課題及び募集規定

▲募集規程 ▲川柳は端書又は同形の洋紙一枚に紙上の雅號又は氏名の外に住所氏名明記の事▲締切 [illegible]

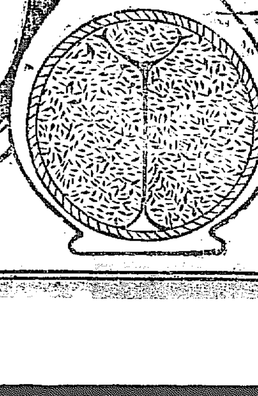
天氣 ▲十二月廿三日 晴れ後曇り

◁◁タイヤ界の大革命 空氣いらずタイヤー▷▷

◀二ケ年間責任保證▶



日、英、米、佛、露の各國で特許せられしタイヤー界の明星
日本スポンヂタイヤーは
今や世界的タイヤーとなりました
論より證據一度御試用下さい



滿洲各地朝鮮全道に於ける一道一市場の特約店御希望の方は此際滿鮮商會へ御申込願ます

日本スポンヂタイヤー
滿鮮一手發賣元
滿鮮商會
京城府長谷川町五十八番地
電話一九二六番 二〇九九番
電略(マセン)

營業項目(自轉車用、人力車用、自働車用 齒科用ゴム、電燈用ゼツエン)

懸賞尋人

一、七里幸一 明治十二年十一月生 大阪府平民
一、特徴 目玉大なる方 眉濃き方 丈普通
一、明治二十九年九月以降十月五日頃迄臺中縣土木課隔前傭入見習となりしことあり
一、同廳御用受負人岐阜縣生池本(臺敦街梅月樓主人)の扱に係る傭人
一、同年十月八日頃南投廳下埔里社に向つて出發したり
一、其後の消息不明
一、右本人の現住所を突留報知せられたる方には金千圓を呈す
又死亡年月日及其場所を的確に通知せられたる方には百圓を呈す
一、其他搜索上の便宜(例へば當時同人と同居せる者の通知)又は其後の消息を的確に通知せられたる方へは金十圓を呈す
一、期限大正六年九月三十日限
通知先は大阪市南區天王寺松ケ鼻町五四七三番
安藤外苑

是れ!是れ最高能率を有し眞に理想的な
パイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!
"PINE"
◎大日本政府登錄 米國製正十四金イリジユム付ペン(責任保證付)
◎附言 パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ケ年間交換又無料修繕
完全なる設備と老練なる技術者に依り各種萬年筆即時修繕
堅牢無比
東京パイン萬年筆出張所 京城旭町二の六

山の一本松 おとぎばなし

ある田舎の山のてつぺんに、一本松が生えてをりました。その一本松は、昔の、昔の、大昔からたゞ一本生えてゐたゞけで、まことに〳〵淋しさうに見えました。

その一本松の生えてゐる山の麓のお百姓家に一人息子がをりました。太郎といふ子でなか〳〵おとなしい好い子でありました。

太郎は一人息子のことですから、兄弟は一人もありません。他所の子には、それ〳〵弟なり、妹なり、又兄なり、姉なりがあるのに、太郎には兄も、姉も、弟も、妹もないものですから、

『淋しいな、淋しいな、なぜ僕には兄弟が一人もないんだらう。妹も弟もなぜ産れないんだらう。』

と云つてをりました。そして、たまには、お母さんに向いて

『お母さん、弟でも、妹でも好いから、一人産んで下さいな。僕一人ぼつちでは、淋しくつて、淋しくつて仕様がないんですからね、お母さん。』

と云ふこともありました。けれども、それは太郎が無理でした。産みたいと思つても、子供が思ふ通りに産れるものではありません。お母さんはたゞにこ〳〵笑つていらつしやいました。

ある時太郎は、一本松の生えてる山のてつぺんに登つたことがありました。その時太郎は、つく〴〵と一本松を見上げまして。

『あゝ、お前も僕のやうに一人ぼつちだね。淋しいだらうね。』

と申しますと

『本當に淋しうございますよ。』

と一本松は答へました。

『さうだらう。氣毒だ〳〵。好し〳〵僕がお前の傍に小松を植ゑといて上げよう。あまり可哀さうだからね。』

と太郎は山の中から小松を一本抜いてまゐりまして、一本松の傍へ植ゑてやりました。一本松は大きに喜んで

『どうも御親切に難有うございました。お蔭で今日から淋しい思ひはしなくつても好くなりました。』

と申しました。

『さうかね。そんなに嬉しいかね。それでは僕にも弟か妹かゞ出來るやうにしてお呉れ。ね、ね、一本松さん。』

と太郎は一本松に、かう云つて頼みました。すると一本松は、直きにうなづいて、

『よろしうございます。引受けました。きつとお母さんが可愛らしい赤ちやんを、男の赤ちやんをお産みになるやうにして上げませう。安心していらつしやい。』

と云ひました。太郎はそれを聞いて大層喜んで、そのことをお母さんにお知らせしますと、お母さんは、

『さうかね。それでは、その內赤ちやんが産れるかも知れないよ。』

と仰しやいました。果してお母さんは、一年たゝぬうちに、可愛らしい男の赤ちやんをお産みになりました。太郎は、

『嬉しい、嬉しい、嬉しい。こんな嬉しいことはない。』

と云つて近所近邊を飛びまはりました(をはり)

◉活動寫眞式に仕組んだ心中

大阪商船那覇丸が去る十三日大阪出帆の際乘込んだ二等船客伊豫松山市北京町久保龍太郎(四八)同所八木しづゑ(二二)の男女が十五日午前三時頃鹿兒島縣內野沖合を航行中投身情死を遂げた、女は丸ポチャ美人の姙娠四ケ月位と見受けられ男は八字髭を蓄へ相當の服裝をしてゐた、遺留品は手提鞄一個で中に男女から船長宛の遺書や戸籍謄本、日記手帳など現はれたが其に依り龍太郎には滋賀縣に本妻があるに拘らず愛媛縣今治電氣會社在勤中、右の女と通じ同社を退き遂に情死を企だつるに立至つた事逐一判明したが其船長宛の遺書と云ふものが頗る振つたもので、活動寫眞の筋書に記してあり、戸籍謄本迄添附し其筋の取調べに便した計畫振りは心中のレコード破りといふべく其書き殘した筋書は次の通である

◉實演活動寫眞悲劇 流船心中海底の藻屑

說明辯士實演者 久保龍太郎
女優 八木しづゑ

◆第一巻◆ ‖末廣通假住居‖

此處は伊豫今治末廣通り田窪の二階座敷阿部株式會社技師手の宅にて團藏には女房子のある身でありながら他の年若き女と共に暮す新世帯今しも二人は會社の勤めも終りて靜江は食事の仕度や掃除に多忙わしく食事も好た二人差向ひ食事終らば散步や芝居活動見物も二人連れ浮世苦勞知らずの別世帯二人は知らず〳〵戀の淵に溺れ行くのであります

◆第二巻◆ ‖龍太郎の妻の里‖

此處は龍太郎妻の里滋賀縣阪田郡西黑田村字本庄大久保藤吉の娘、妻のはつは年老ひたる父母に仕へ農業も女の身一つに引受け二人の小供の世話して末は龍太郎共に大久保家相續する事にて夫婦相談の上國元にかへりたるなり二人の小供の成長を樂みに一生懸命に稼ぎ村內の評判もので有ります妻の親切も水の泡龍太郎は戀のため身も魂もうばはれたので有ります

◆第三巻◆ 決

今は二人は不義の戀も日に〳〵深くなりたれども女房子のある身到底添ひ遂げられる事もならず思ひ切るには切られず二人は會社を退社して一層東京初め名所を見物して面白く暮して死なふと心中な決心してする事になりました

『靜江』妾は國の奥様に氣の毒でなりませんと云つて思ひ切られず奥様苑して下されと要程頼な女は有りません

と後は涙に暮れました

『龍太郎』いや私が悪いので有ります貴女の様なる年若き花の盛りの美人と私の様なる年老りたる花も實も枯たる此の私と共に死するは氣の毒なれど此れも前世の因縁と諦らめて

此れより二人は不用者類なるものも賣り拂ひ此が一生涯の仕事の仕終りで有りました會社より龍太郎少ながらぬ慰勞金や積立金や多くの金を持ちて此に今治を出立する事になりました

◆第四巻◆ 新婚

四月一日雨に添る今治を後に見て永年住みたる今治名残惜しく海岸電燈も永の別れと思ふ內汽船は大阪着愛も過ぎ(道後廣島京都大阪見物の事を詳しく記し)愈々死するには著類も不用と賣り拂ひ今は心殘りも更に惜し今治出る時より面白く暮して共上で死すると覺悟を極めたる二人本船乘り込み海底の藻屑と消ゆる事にした船長初め船員諸君も去らばで有ります

拜呈私等兩人覺悟の上本船より投身する事にて本船は殊に迷惑の事と存じ候へども不惜と思召し何分宜敷御願申上候

久保龍太郎

本船長殿

尙其筋の取調べ等の便利のために之通りに候

明治卅八年入社最近迄(三月三十日)勤め先は『愛媛縣今治町阿部株式會社原動部』にて汽罐取扱主任電燈機發電取扱事業技術付合格證書附與に相成り選留手提鞄の中に履歷書と共に有り會社は三月限り退社關係なし

原籍滋賀縣阪田郡西黑田村字本庄七百四十番地(戸籍謄本の通り)

平民 久保龍太郎(四十八歲)明治三年三月生
八木しづゑ(二十二歲)

右之通相違無之候也

渚の砂

■大きな珊瑚 高知縣安藝郡津呂村椎岡寅太郎等四名は室戸岬沖で重さ三貫目の珊瑚を引揚げたが價は一千圓以上のものだと

■稀らしい大魚 愛媛縣西宇和郡四つ濱村松本近太郎は十二日朝漁業中重さ三十貫餘りある大きな『あかゑい』を獲つた

■神佛に祟られる 福岡市中市小路町飯川萬吉(三九)外四名は共謀して每日神社佛閣を荒し石塔でも燈籠でも金具でも手當り次第に山のやうに深山窃んで賣却してゐたことが判明して檢擧された

■小僧と五萬圓 東京日本橋區堀留町株式仲買業天島屋方屋人横澤岩男(一五)は此の間坂場銀行で四萬圓把入の預金通帳と八千五百圓、二千五百圓の小切手二枚現金七百十五圓入りの風呂敷包みを拾つたが間もなく遺主が判つて五十圓の謝禮金を受けた

■稀代の大蟇 兵庫縣宍栗郡野村字木谷の栗藤太吉は十一日夕刻山の中で重さ二貫八百匁ある大蟇を生捕つた

■恐ろしい庖丁 岡山市門田の料理店萬歲に住まつてゐる料理工石本要造(二九)は同町金吉田榮助(四八)の二女かれ(一七)を內縁の妻として同棲中榮助は甚だ邪慳で根性を出して要造から金品を絞り取つて其娘を離縁さしたので其の腹癒せに要造は十七日の夕刻庖丁を以て榮助方に暴れ込みかれ及び其の姉きよ(二三)の兩女を慘殺し己れも割腹して相果てた

■七萬圓逃ぐ 北海道函館市音羽町仲買業安藤兵吉(三二)は今夏來の好景氣に同業者買占めた雜穀を自己の名義に書換へ鐵道運送業者を欺いて倉庫に格納中の現品を引き出して賣却したる價格が約七萬圓に達し其の罪科が發覺す恐れがあるので此の間夜逃げをしたが同業者は破產した者さへあり同人の行衛を搜査中ださうな

東萊 海雲臺 探涼大會

盛夏涼を想ふの時費用と時間を最も巧みに節約し東萊、海雲臺の涼味を思ふ儘漁る兩社主催の探涼團は

會費十二圓(滿四歲以上十二歲迄八圓)

此低廉なる會費を以て京釜間往復汽車賃を始め一切の費用を支辨又探涼會員乘用の汽車は三等車乍らも鐵道局の好意にて新造美麗の車輛に坐席の餘裕を圖り普通二等の快感を覺へ玉ふ可し

『思ひ立つ日が吉日!』

再び來らざる此好機を逸せず奮て探涼會の一員として參加せられよ

興演藝案內

黄金館 電話 三六三七 六五二 七月廿日より中元御禮特別大興行 大阪色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 △村田正雄熊谷トン會一派 新派大悲劇『涙の海』(全十八卷) ○舊劇 女忠臣藏女義士傳(全三卷) △米國ユニヴァサル會社作 泰西劇『野花姫』(全三卷) □豫告

壽館 京城壽町 電話一〇九〇 七月二十一日午後六時より 第卅八回筑前琵琶温習會 曲目 ▲赤垣源藏 ▲臺灣入 ▲常陸丸 ▲茶臼山 ▲大高源吾 ▲護良親王 ▲千手の前 ▲鉦馬 ▲湖水渡 旭祥 ▲川中島 旭恰 ▲本能寺 旭彩 ▲芳流閣 旭王 ▲木內宗吾(應援)▲屋島 ▲寶盛 旭水 ▲小松原(應援)旭局 入場無料 下足料五錢

壽座 京城壽町 電話七五八番 內地各大劇場に於て大好評を博したる帝劇女優山村都紀子以下男女優三十餘名來る 一行は廿日乘込み廿一日初日に決す

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 七月廿日より納涼特別興行 破天荒のニコ〳〵チャプリン大會と餘興大魔術 ▲チャプリン大會番組 □丁抹の近衛兵 □米國キーストン會社特作逸品 四萬圓の世界最高給料取り喜劇俳優チャプリン君外數十名出演 ■滑稽活劇チャプリンのパン屋 全二卷 ■滑稽活劇チャプリンの拳鬪 全二卷 ■冒險喜劇チャプリンの怪潜艇 全五卷

浪花館 明治町 電話二六〇 ◎有名なる新講談伊藤痴遊師來る △二十一日より開演向一週間日延なし 演題◎秀吉の出世譚 旭堂南昇 ◎陸奥宗光と女 ◎大阪藤田組疑獄の眞相、明治初年の財政と三岡八郞。以上長講三席痴遊師講演 入場料一等金九十錢 二等金七十錢 三等金四十錢

有樂館 黄金町 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番 東京小林商會朝鮮一手代理店 米國ユニヴァサル會社特約 直營 早川演藝部 當る七月廿二日より公開 米國ユニヴァーサ會社十七分社の內 ◎滑稽『西坊海濱の巻』櫻狂風說明 ▽滑稽『愛兒』都榮瑞說明 ○滑稽活劇『ノッポの手柄』久世松葉說明 ◎滑稽正劇『アリス孃』主任南郊公利說明

▼舊劇『聖人坂銀杏の由來』 ▲新派連鎖劇雨夜の鐘

拙營業山鑛山暴風雨被害の爲め作業の一部中止に付ては關係各位及同業者諸氏の深厚なる配慮を頻し御芳志奉萬謝候御蔭を以て其損害も案外輕微にて直に復舊工事を終へ僅々數日休業にて平常の如く作業を繼續し生じたる總ての運滯を回復して豫定追及の爲め目下努力中に有之候條幸に御放慮被成下度御禮旁々御報申上候

小林鑛業本部

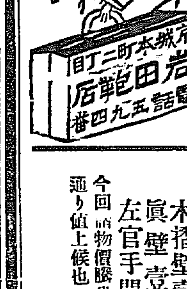
七月廿日ヨリ同廿六日迄 蚊帳大賣出し 京城明治町 唐川吳服店 電話二六一番

原式昇降機付精米機 精米界のレコードを破る天下一品

◎本機械の特長 在來の精米磨擦機はローラー及シャフトを共に一個の合製にて取替誠に不經濟なりしに反し他式にも自由に使用し得る原氏の發明に係る本機はローラー取替へ實に輕便にしてローラーのみを取替へ機械の消滅半額を以つてなすを得本機四五台を使用せば一ケ年の人夫費及ローラーの經費二千圓以上の節約を得本機希望特約希望の御方は御一報次第說明書カタログ無代送呈す

朝鮮一手販賣元 釜山本町一丁目 中島機械商會 電話特長九九〇番

旅行用具 東京製 袋物 魔法瓶



安住かとり線香 登錄商標

天下一品 年々益々好評 內外各博覽會金牌受領

製品種類左の通りに候 定價
內地向 美裝紙函 十袋把入 金三十錢
渦巻形大 六時間持 十二卷入 金廿八錢
仝 中 三時間持 十二卷入 金十五錢
仝 小 二時間持 十二卷入 金十錢
輸出品 美裝紙函 新案特許線香立附 十二把入及十把入
渦巻形 大中小三種
輸出品は英、米、露、支、南洋、西班牙、印度向の數種あり 御註文の節御指定を請ふ

例年の通り景品券附 拾函買へば壹函無代進呈

到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す

大阪北區曾田町 安住大藥房

勸業債券募集者ヲ募ル 代理店及支部長月收五拾圓以上確實 全國樞要ノ地ニ代理店及出張店アリ

東京市麹町區有樂町一丁目四番地 丸ノ內聯合商會債券部 電話本局四四一七、振替東京三三三八五

生松丸太(杭木並に小屋丸太) 湖南線井邑驛前及京元線金谷驛に出村あり
松大丸太長二十七八尺以上三十尺位末口五寸上 赤見
青竹新荷著 材(製車用)
杉皮(安價なる屋根葺材料)セメント新荷著
杉丸太足場用(二間以上五間半以下)各種
但し多數新荷著あり京釜沿線に御入用の節は御便利の爲め釜山港に多數積材あり
右特に廉價を以て御用命に應じ可申候間多少に拘不御用命の程願上候

京城府岡崎町 九三幸洋行 電話長三八〇〇番 振替京城三一九五番

內科 小兒科(入院隨意) 京城櫻井町 池上醫院 (電二二七一番)

請負單價値上廣告
木摺壁壹坪に付壹圓七拾錢以上
眞壁壹坪に付壹圓八拾錢以上
左官手間賃壹人に付金壹圓八拾錢也
今回諸物價騰貴之爲め組合の決議に依り來る八月一日より右之通り値上候也

京龍左官業者救濟會

★サッポロビヤホール

旭町一丁目 旭バー 電話一六三七

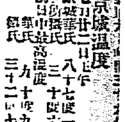
部鑑浦面山西里金昌鑛より貸金の取立方を依頼され債務者を嚴重督促して集金したる金額の中より手數料旅費等を差引きたる上更に五圓餘を横…る等手段い方法を以て債務朝鮮人二千餘名より數百圓を取立て其の都度五六圓乃至二十餘圓宛合計百二十圓を貸主より横領し居ること發覺し此

◉連絡船上陸客 二十一日午前八時四十分釜山入港さくら丸 一二等客 一等(一名)諸田一駿 二等(五十七名)山田菊雄、今田川菊松、小島田七太郎、大竹政右衛門、築田利平、同千代、…本はる、樋口彦藏、同けい、同一郎、大須賀泉、高井建次、同かん、同八重、渡邊由三郎、山田政藏、田野治作、田村俊次郎、同きゆ、同俊伍、中島同、岡田三太郎、小野寺七、竹內儀治、有本利吉、深川博信、同仲子、久藤朔次郎、清水武生、國分博夫「アルーマ、ボーミン」「イチラ、コーチル」 二等(一名) キッチ、シーボ、サロカ(英國人) 二等(十五名) 松岡ふさ、同生子、伊藤ゆき、石塚ふち、同嗣雄、同さち子、山本とみ、赤木甜太郎、笹淵宇兵、阪井君子、小栗直臣、芦原つき子、同三郎、大塚久米藏、齋藤新太郎、 三等(百名)

▲物は付屬されるものに▲ 同廿三日 同 廿四日
▲鉄、鉤と掛けて 同廿四日 同 廿五日
▲一口噺「北時々の事」同廿五日 同 廿六日
▲下旬付「まつすぐに」同廿六日 同 廿七日
▲詰め▲ 同廿七日 同 廿八日

發表後一週間以內に到…告者には五十錢買精券を呈す(但し…何書何號と明記に限る▲宛名は京城日報社編輯局…

豫報



▲京城温度 七月廿二日正午 八十七度二分 京城華氏 最高温度 九十度六分

明君道中記

第二百十四席　田邊南龍口演

芭蕉屋庄右衛門は家へ入り　庄『今歸つたよ　なか『オヤお歸んなさい、雨に降られましたらう　庄『何に他家に居たから雨には逢はなかつた　なか『それは宜うございました　庄『酒はあるかね　なか『買て置きました　庄『そんなら燗てくんな、其内に店を片付けるから』と庄右衛門は表の戸を締め座敷へ來ると女房が漬物を取出して火鉢の前に坐つて二人で飲み始めたが　庄『おなか汝と俺と斯うして夫婦になつて酒を飲むのも譯といふものは不思議なものだな　なか『何を云つてお在なさるの　庄『然し考へて見れば庄右衛門も可哀想な譯だ、俺が指金とは云ひながら亭主を殺して餘り快い心地でもあるまい　なか『妾も元は籠抜を稼して居て隨分惡いことをしたものだがお前さんも萬更白い身體ではあるまい、隨分惡いことをして此の京都へ流れて來たのだらう　庄『然う云へば俺だつて是まで惡いことも澤山して來た　なか『鬼の女房に鬼神の例へ惡黨同士が夫婦になつたのだから宜いではないか、　庄『まアそんなものだ　なか『私は未だお前さんの生國を聞かなかつたが九州は何處の生れ　庄『筑後の久留米有馬家の家來で住なり身分のあつたものだが放蕩故に浪人して諸方を廻り歩いたのだ　なか『其れまでに惡いことをしたらうが一番可哀想だと思つたことはあるかね　庄『伊豫國大洲の在須戒村の百姓治兵衛夫婦を肱川堤で殺し、百四五十兩の金を取つたが　まア是等は可哀想なことをしたと思ふのよ　なか『オヤ〳〵人殺しがあるの、それは穏しいこと、妾が亭主として恥しくないは　庄『酷い女だな　なか『お互ひさまだね』と誰聞く者も無いと思つたから酒の上で我身の惡事を話して居りますと、表の戸をトン〳〵叩き　○『御免なさいまし、芭蕉屋さんといふのは此方でございますか　庄『ハイ手前共でございますが何誰樣で　○『一寸旦那にお目にかゝりたうございますからお開なすつて下さい　庄『ハイ左樣で厶いますか只今開けます』と立つて參つた庄右衛門が店の潜り戸を開けると、入つて來たのは彼の徳之助、互ひに顔を見合せましたが庄右衛門は徳之助を見忘れたか　○『何誰樣ですか　徳『イヤ誰でも無い芭蕉屋庄右衛門とは假の名眞は吉永東馬であらう　庄『ヱッ　徳『見忘れたか我こそは伊豫國大洲在須戒村の名主徳右衛門の倅徳之助である、緣あつて治兵衛の養子となつたる處、汝は治兵衛夫婦を殺し金子を奪ひ其儘逐電なしをつたが、我は養父の仇汝を討んが爲に是までの艱難辛苦は幾許ぞ、今此處で遭逅ふのも亡治兵衛夫婦が手引と見ゐろ、親の敵の吉永東馬イデ尋常の勝負をいたせ　○『コレ吉永なぞとは覺はない人違ひをいたされるな　徳『卑怯な吉永東馬、其の儀ならば容赦はいたさん』と被て居る羽織を脱捨れば下は用意の玉襷、腰に帶する一刀は我が家重代の筑前左の一刀、引き抜きざまに飛びかゝつて來るから東馬の庄右衛門もヒラリ後へ飛退つて火鉢の傍にあつたる藥罐を取つて投付ける、徳之助は心得たりと身を開き飛込みさまに斬付ける、東馬は素より腕利きなれど身に寸鐵の得物も無く手當り次第に有り合ふ品を投付けるを徳之助は右と左へ斬拂ひ踏込み〳〵斬込んで參ります、是を見て女房おなか　なか『人殺し誰か來て下さい』と呼はりながら是亦手當り次第膳椀皿小鉢煙草盆火入を取つて打付けたパッと灰かぐらが立つ、時に取つての目潰し故兩眼へ入つてはならんと徳之助は袖を以て拂ひます、其内に東馬は奥へ飛込み一室の内より一刀を取出して再び其處へ躍出ました

暦

七月廿四日　舊六月六日　丁卯　木命　九紫　甫　成　大安

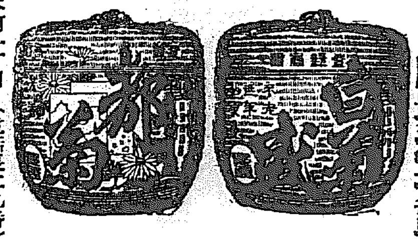
▲九紫　開　ぬ事有る日　新事見合西方は吉暗劍南▲一白　無理な注文を受んとす　新事手控ゑ事は吉將來注意▲二黒　大吉利の日　轉居入學会件名弘求職建築新調皆吉物に勝の日▲三碧　潮流美なる日　轉居入籍婚皆吉女子の思はぬ良緣を得る最も有望の日也▲四綠　程よき日　轉居開業旅行萬進んで利有り　待人良報を齎して來る▲五黄　惡悲心の起る日　轉居入籍等萬吉　殊に女子の熟事業を計るに妙▲六白　厄介至極の事有る日新事手控へ要す　吉保證連帶等せぬがよし▲七赤　眼の据らぬ事有る日新事手控へ轉居は吉萬事可停にせらるべし▲八白　祝融の日　轉居行商入學名弘金件求職建築經營絹　山葉等萬吉

牛乳　御用
京城東四軒町
岡野牧場
電話一〇六九番

京染　呉服
京都　たまや出張店
永樂町二丁目
電話一一九六

時計貴金屬指輪眼鏡商

地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目　京城銀行前
三浦天龍堂
電話一〇〇二番　振替京城三〇四番

醇良清酒

大阪府堺市
釀造發賣元　肥塚源次郎
京城本町一丁目
特約販賣店　佐藤牧太郎（電話長二九番）

化學的純良なるツバメ歯磨
特長
■歯を強く美くし。
■口中を清潔にし。
■防腐殺菌力强大也
大阪　東京　丹平商會藥房

月やく
如何程長き難症も妙藥メンニスを一御服用あれば必ず通經す
藥價六十錢　一週間試用三十錢
京城黄金町三丁目　山田文殊堂藥房

久米田博士御處方　島田博士御鑑査
アナタの胃病にはマーゲン
強胃消化錠
＝本劑の特色＝
二博士鑑選の本マーゲンは藥式胃腸藥さ異り其卓効は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を増し胃腸を治し著しく胃を爽快にす
大阪市東區上本町五丁目　田畑保藥房

御料
御園化粧品

東京の御婦人方は白粉は御園許りと

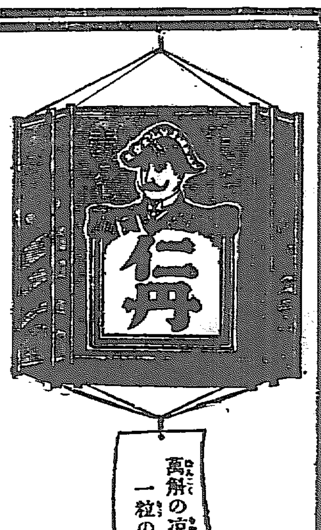
定めて御愛用ひになつて居いてゞす、其れが東京許りてなく日本全國何地ても御婦人方は皆御園白粉が一番よいと被仰つて居ります。御園白粉は普通の白粉よりもノリとノビとが非常によいので、濃くも淡くも思ひの儘に至つて手輕に美しく着き、其御化粧榮えが何んとも申樣のない程高尚てあるからてす。

御園ルチゲンは高橋醫學博士が數年の間苦心研究して發明された完全に日焦を防ぐ藥品を主として其れに肌の營養となる純良の化粧材料を配合したもので、粧けて毫しも目立つ事がなく完全に日焦を防ぐ効能がありますから、男子方にも御婦人方にも、日に焦け易い是れからの季節には片時も手放す事の出來ぬ貴重な御化粧料で御座います。

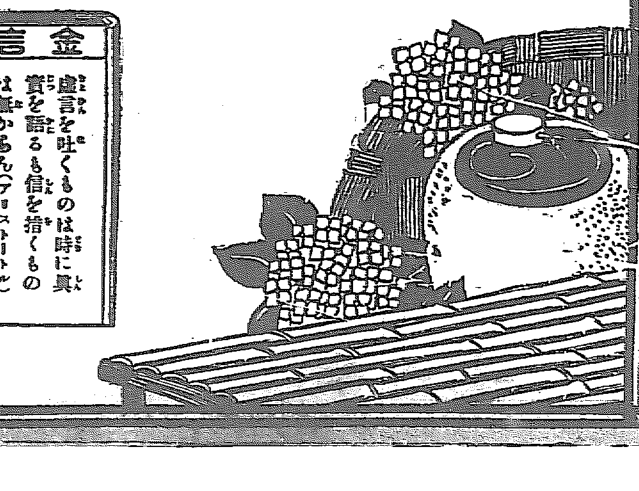
日焦を防ぐ

御園ルチゲン
定價　金三十錢　金五十錢

御料　御園化粧品本舗　伊東胡蝶園
御料　御園化粧品發賣元　丸見屋商店
（272）



●暑さ日に増す
今日此頃は時候あたりや夏まけせぬやう誰方も早く仁丹の御用意が何より肝要です!!―



汽車　南行　北行

……結果となし眠る學び易きが如く思惟す、然も甚だ學び易からず、偶然を……

……資金を數み一定の職を擲ち空想に迷はれ生活に窮せる成金的夢遊病者漸く多しと、憂ふべき現象なり先輩の戒飭を望まざるべからず。

……を前にして白い作業服の生徒……要々なしき洗濯振りは一種涼味の掬すべきものあり、登山の氣風を鼓吹するは文に最も缺げたる崇高雄大の……

……の手にも青年會乃至狩獵家の手にも殖すを得ず、徒らに盜掘山中砲哮の聲を聞くのみ、豹は人を怖れ人豹を……

……輸入品の部にあり、數年前輸入額四十萬圓を算せしもの昨年には十萬圓に低下せり、然もペン尖の需要は……き例はペン尖に限らず、マークの撰……迄などは卑屈なり正銘の國產品を賣出すが可。

……呑んでゐるより外なきに……臘のため調子三八悲慘の……るものあり、この……

……八十四萬千石に上る、近く豫定の一……日九十五萬石給水の日來らん、然かも上水の設備二者五十萬人に給水し……

……を無視せる構造は世間興行に往々卒倒者を出す、當局はヒルム以外に眼はなきか、

京城日報

第三版

七月廿三日（夕刊と合せて八頁）

定價　本紙一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢……
廣告料……
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社　電話……

ハリス先生の新町通ひ

山縣生

ハリス先生は生ける基督教である。其言行は基督教の最も高き教訓の結晶で、愛と正義の實現である。其信仰の熱烈なるは火の如く、其襟度の宏きは大海に比ぶべし。先生に接する時は、誰しも襟を正さゞるを得ざると共に、慈母の懷に抱かれしかの如き心地して、心中謂ひ難き幸福を感ずるのである。

ハリス先生程我國人に厚く敬愛せらるゝ人は他に無からん、同時に先生程我國人を深く愛する人は他にあるまい。先生は其長き貴き一生を我國に献げられた。思ふに先生が我國人の幸福を祈り、其爲めに力を盡されぬ日は一日もあるまい。五十餘年前先生が日本の爲めに働かんとの決心を[illegible]て渡來された時に、其[illegible]は猛烈な排外思想を抱く者少なからざりしことゝて、先生の一友人は萬一を慮りて護身用の短銃を贈つた。先生は其厚意を感謝すると共に、自分は我身命を日本人の爲めに献げんとする者である、されば假令其日本人に殺さるゝ事あるも何の恨みかあらんと言ひて、其短銃を海中に投せられたといふ逸話がある。先生の我國人を愛するの深き斯の如きものである。されば先生が我國人の爲めに盡された事幾度といふ事を知らず。中には先生の恩に背き、先生を賣る者もあつた。されど先生はこれが爲めに日本人を惡評するが如きは未だ曾て有らざる所である。先生は平常頗る質素儉約なる生活を送り、粗衣粗食に甘んじて、其所有の財產とては殆ど無一物である。收入少なきに非ず、久しく監督の要職に在りて、高給を得る多年なりしも、其大部分は之を慈善博愛の爲めに費されたのである。日本の貧書生にして、先生に援助を受けし者、親より少なき孤兒寡婦の先生の惠みに依りて生を繼ぐを得たる者擧げて算ふべからず。今日先生は退職して、其收入は僅少をなしにも拘はらず、猶數名の學生は先生の庇護の下に勉學して居るといふ。先生の如きは眞に清貧なりといふべし。

余は先生を崇拜する者である。余は我儘にして私慾深く、邪念常に横溢して、やゝもすれば邪路に踏み入らんとするの恐れがある。然も幸にしていまだ大に過ることなきは、一に先生の感化に歸すべし。余の書齋には先生の寫眞が懸けてある。何等かの原因の爲めに私慾邪念が心中に湧き起り、不平不滿が胸に滿つる時、余は先生の寫眞に對して自ら省み、先生を憶ふて悔悟するのである。先生は余の精神上の父で、信仰上の導者である。思ふに先生の生ける教訓により、教はれつゝある余の如き者處に多くあらん。

余の先生を信じ、愛し、且つ尊敬する斯の如きものである。然るに近き頃此信頼、此敬愛が危く破れんとした。圖らずも先生につきていとも忌まはしき風評が余の耳に入つたからである。

其忌まはしき風評とは何か。先生が新町へ通はるゝといふ風評であつた。一日○といふ人と不圖先生につきて語り合ひし際、其人が此風評を余に傳へたのである。余は之を聞きて銳刃を以て胸を刺さるゝかの如く感じつゝも、さる莫伽氣たる事のあるべしやと之を信じなかつた。すると其人の曰く、自分も初めは信じなかつた、されど種々の事情は其眞實なるを證明するを如何にせんとて、更に詳細に其事情を語り、先生が昨年の春の頃新町の某樓に前後十回程も通はれたといふ事から、いつも裏門より其樓に上られたといふ事、先生の相手たる娼婦の如何なる者なるや、先生が如何に此女に少なからぬ金品を與へられしや等につきて言ふ所あり、後、事の餘りに意外なるが故に初めは何人も之を信ぜず、恐らくは人違ひならんとて、或人は先生の寫眞を持ち行きて、其樓の者に示し、かくて先生なる事を確めたのであると云つた。

まさかと思へど今は疑ふの餘地が無い。余は堪え難き痛みを感じつゝも、胸に浮んだのは白隱和尚のこれに類する逸事であつた。此大德の和尚を深く信ずる或人の娘が或者と情を通じて姙娠した時に、娘は父の怒りを恐れて、相手は白隱和尚であると言つた。父は呆れて、さては和尚は此狸坊主であつたか、さるにても此儘にて濟まされじと和尚と面談したところ、和尚はさやうかと唯大笑して其罪を引受けた。然るに其後眞實の事が知れたので、其人大に恐縮して、罪を謝した所、和尚は又さやうかと唯大笑したといふ。余は此逸話を憶ひ起して、ハリス先生の新町通ひの話は必ず何か故ある事ならんと思ふた。

然も此話を聞きたる以來、余は絶わず煩悶した。余の最も敬愛する目的の人、余が日頃模範とし、其行動に倣はんとする人が、萬一にも喰せ物であるとすれば、余は今後何人に頼るべきかを知らず。余は暗夜の航海者が燈明臺を見失ひたるの感を以て、疑ひ惑ひ、悒々として樂まなかつた。

然るに數日間余の尊敬する一紳士の、余と同じくハリス先生を欽慕するU氏と會見するの機會を得た。其時U氏は君はハリス博士の新町通ひについて聞けりやと言はる。聞きたる所あれど、思ふに余の聞けるは其半分に過ぎざらんと思ふと答へたるに、U氏は頷きて、然なり、余も初めに其半分を聞きて驚けるが、後に殘りの半分を聞きて今更の如く博士の德の高きに感服したり、委細はM氏よく知れり、行きて聞かれよと言はれた。

余の喜びは如何ばかりなりしぞ。余は最初の機會を捉へてM氏を訪ひ委細の事情を確むることを得た。其話に據れば、ハリス先生の新町通ひは事實である、然しながら先生は劣等なる性慾を充たさんが爲めに、通はれたので無い事は勿論である。先生の訪はれた娼婦といふは以前は良家の娘で、嘗て先生の監督さるゝ青山の女學校に學び、基督教に入つた事もある。それが何かの事情の爲めに淪落の淵に陷りて、淺ましき稼業に就かねばならぬ事となつた。昨年の春此憐れむべき女は或者を通じて先生に救ひを求めた。先生は憐憫の情に堪へず、屢々訪ね行きて其女を慰め、少なからぬ金を費し、千々に心を碎きて其靈と肉體との救濟に力を盡されたのである。先生は元より新町の如き所に行くことの瓜田に履を入るゝの危險なるを知られぬのではない。然も先生の義俠心は先生をして此危險を忘れしめたのである。先生は自己の潔き心より、世間の人が如何に先生を誤解するの恐れあるかを顧みられなかつた。されば後に或人が此事を聞きて、先生の爲めに憂ひ、それとなく忠告する所ありしに先生は極めて無邪氣に自分は七十餘歲の老年である、まさか世間で自分が遊びに行くとは思ふまいと信じて居た、若い人を煩はしては其人の名譽を傷くる恐れがあるので、自分自ら行つたのであると言はれたそうである。

思ふに神の如き先生の眼には娼婦も亦一個の人格と映じて、其生業の賤しきと否とは先生の問ふ所でないのであらう。イエスが罪ある人に接りて共に食し給へるを、パリサイの人と學者たちの議誚けるを聞き給へる時『彼等に語りて曰ひけるは、爾曹のうち誰か一百の羊あらんに、若し其一を失はゞ、九十九を野におき、往て其失し羊を獲る迄は尋ざらんや、尋ね得ば喜で之を己の肩に負け、家に歸りて其友と其隣の人々を召集めて曰はん、我と共に喜べ、我うしなへる羊を獲たれば也。われ爾曹に告ん、此の如く一人の罪ある人悔改めなば、悔改むるに及ばざる九十九の義人よりは尙天に於て喜あらんと。』ハリス先生が淪落の一少女を救はんが爲めに、敢て士君子の足を踏み入るべからざる巷に行かれたるは、失はれたる小羊を尋ね獲んが爲めで、其愛の深くして、德の高き、木石の人と雖も之を聞かば感動せざるはなからん。

蓋し世に花柳の巷に節操を賣りつゝある少女程憐むべき者やある。彼等は嘗て無垢の處女であつた。彼等とても羞恥の心は有つて居る。一人として自ら好んで賤しき生業に就いたものは無からう。社會の組織に猶缺陷あり、世に少女の節操を玩弄する遊蕩兒あるが故に、彼等は存在するのである。而して一度淪落の淵に陷るや、彼等は知らず覺らず、下へ下へと墮ち行きて、遂には良心を亡ひ、身體を滅ぼすのである。咎むべきは不完全なる社會の組織、惜むべきは遊蕩兒、憐むべきは彼等不幸なる少女である。若し神の裁判ありとせば、罰せらるゝは彼等を犧牲とする輩で彼等は免さるゝであらう。然も彼等を救はんとする仁人義者の何ぞそれ少なきや。我ハリス先生は此稀なる仁人である。

思ふに名利に超越し、基督の心を以て直に其心となせるハリス先生は世間の風評、毀譽褒貶の如きは毫も其顧慮せられざる所ならん。先生は其正しと信ずる所を行はゞ可。如何なる誤解も惡評も先生にとりては象の頭に止れる一匹の蚊に過ぎざらん。然も余が此文を草したるは先生の寃を雪がんと欲するが爲めに非ず。世道人心の爲めを思へば也。先生の高風大德は世人の普く渇仰欽慕する所若しも先生の新町通ひの話が誤り傳へらるゝに於ては、而して實際誤り傳へられつゝあるが如くなれば、余の如く懷疑に煩悶する人々多くあらん。余の話に誤りし所を聞くに及びて、其等の人々は今しも一過、天日再び輝くたるの感あらん。

誰（20）

布施生譯

『どうだ恐入つたらう。』と檢事は得意の色を漲らせて『此女と此處の關係が知れるのを恐れて竊と逃して置かうとしたのだな、其處の所を見ると君は此女がどんな經歷を有つた人間かよく知つてゐるのだらう。』『あれは私と相知になつた時分には或家の娘をして居ました。』檢事は頓著なく調査簿を開いて『庄司晴美、巴里生れ二十二歲、父、埋葬下受人庄司勢造、母、[illegible]、十二歲、紡績工女となり十六歲まで[illegible]、一年間行衞不明、十七歲雜貨屋賣子となりて姿を現はす、一年の間に八個所に轉勤、二十歲梅園某家に雇はれ中リスボンへ隨行、昨年歸來、毆打罪にて入獄二個月——うむ、そう〳〵リスボンから歸つた時はジプシイ何とか名乘つてゐた。』『ですが——』『成程、君があの女から聞いた經歷はこうかも知れないが、しかし其筋の調書にはこうなつてゐる、放免後六個月の事は分らないが、突然輕田といふ商人と一所に何處からか出てきて、バスチーユ附近に圍はれてゐたんだ、それで暫時は輕田何とか名乘つてゐたが、輕田といふ男を君と見換へてしまつたんだ、君は此輕田と云ふ男の事を知つてゐるか。』『一向存じません。』『輕田は失戀の爲めに一時は君を殺すとか云つて騷いでゐたやうだが、其内家財を賣拂つて何時の間にか見ゑなくなつた。』檢事の言葉は鈴富の耳には大方上の空でおつたが、唯一つ輕田といふ言葉ばかりは、何となく耳の底について離れなかつた、檢事は更に幾枚かの勘定書を摑みながら『君は去年の十二月黑田屋に衣服を三著〆て四百八十圓注文しておるな。』『はい。』『皆この女に與へたのだらう、保部氏と疎々しくなつたのは皆この女の所爲だらう。』『違ひます、あの女の所爲ぢやありません。』『それぢや何の所爲か。』『それは申上げられません。』『それさも[illegible]の方から嫌はれたのか、これ、そう默つてゐてはいかん、何故あの家から遠のいたのか、大事の點だからよく考へて返事するんだ。』いくら言つても鈴富は剛情に默つてゐるので檢事は詮方なく『ぢやあ次の調に移らう、君は昨年四千圓使つたと云つたな、其筋の調査では五千八百圓になつてゐる、しかしまあ君の申立を信じるとして、それでも君の財產はそれで滅茶〳〵になる譯ぢやないか、財產は無くなる、外に工面の目算はない、まあ窃盜でもする外は無いのう。』『いや其時は往く所まで往つて往けなくなつたら——』『金庫に手を懸けるのか。』『いや金庫に手を懸けたのだつたら此樣處に悠々してゐるものですか。』『さう言ふだらうと思つた、しかし君は賢いよ、君は電信が汽車より速い事を知つてゐるからね、金を盜んで汽車で逃げやうとするやうな馬鹿では無い、知らん顏して歸つてゐて其筋の目を晦まして仕舞ふ、萬一晦まし損つて踏捕まつても五六年臭い飯を食つて忍耐すれば——』『しかしさうなら僅々十四萬ばかりでなく、百萬なり二百萬なり盜さうなものですが。』『百萬二百萬より現在手の屆く十四萬の方が難有からね。』

日報詩壇

江原　如水

○自嘲
作詩漫擬謫仙才、飮酒亦能傾百杯、[illegible]古句、居然阿堵醉顏開。
評曰　同上

○蔡若　古城　梅溪
身養老痾脾肉消、心懷松柏歲寒凋、秃毫破硯自堪笑、書虎十年猶類猫。
評曰　自敘胸臆自然可誦

○讀騷經（限韻）　渡邊　凌雪
芸窓兀兀落花飛、讀了離騷物外機、掩卷長時沈思想、汨羅祠畔白雲歸、[illegible]原魂今何處、新綠啼鵑淚濕衣。

○初夏二首　高井　椿堂
[illegible]
垂垂梅子欲黃時、[illegible]窓前宿過籬、閑坐焚香茅屋裏、深庭新綠可無詩。
評曰　與王安石綠陰幽草勝花時句同其情況

日報歌壇

◇海雲臺にて　長　城

人の獸あまた聽き俺き海に來て何に通ふ波の[illegible]

◇若き日の戀に似つれば瞬たかずまぶしき海の[illegible]方な見る

◇波の末の空に連らなる一線の[illegible]背後に君はおはさむ

◇消防服七月夏の海の香に咲き匂ひけり咲き續きけり

○　高須賀獸
まけづぎらの女と云へば向きになり怒れどつひに否れにかなはず

◇まけずぎらひとまけずぎらひの酒飲ゆにつのりゆく戀を爭へど諦らず

○電信修技生募集
朝鮮總督府鐵道局
[illegible]

最新刊
印度及印度人
支那語自習完璧
海外交通史話
禪學質疑解答
定本[illegible]
野球[illegible]
此一年
三坪の花園
道[illegible]
光　源氏の一生
紙[illegible]
青[illegible]
蟠龍院長兵衞
獨歩書翰
涙香集
南洋旅行
正雪の卷
一[illegible]
日本[illegible]
大阪屋號書店
京城本町一丁目[illegible]

婦女界　八月特別號
主婦の讀物
家庭の圓滿に就て新婚者へ……鳩山春子
十二年前の日記より……
夏季に於ける飲料に就ての注意……
乳の放れる時に必要な注意……
乳のよく出る諸般の注意……
自分で反物を賣つた經驗……
最も經濟的に避暑をした經驗
家庭小說　世間……柳川春葉作
一冊十七錢
東京牛込揚場町　婦女界社

內科　小兒科　婦人科　眼科
一元堂醫院
京城南山町二ノ四六（三越合宿所上）
電話一二三四番
小山亨

野口小蘋女史選
玻璃版精印　折本仕立全八集
小蘋畫譜
第一集（蘭之部）發行　第二集以下逐次刊行
毎集十二號　裝幀特製綾絹表紙・並製形紙表紙
定價　金一圓廿錢　送料內地金八錢
野口小蘋先生は南畫家として帝室技藝員に名譽を博し得たる近代の名匠なり。先生は遠く宋元の古意を探り、深く[illegible]の蘊奧を窮めて遂に一家の風格を成し……
東京市神田區佐久間町一ノ一　西東書房發行

日本少年　八月夏休み號
◎月下の水雷戰……鈴木海軍中將
◎少年小說　燈臺の下から……有本芳水
◎アルプス山中の怪人……愛峰生
◎滑稽漫畫　僕の軍艦……次郎冠者
拾貳錢　東京市京橋區　實業之日本社

少女の友　八月夏休み號
◎愛情の犧牲となつた蜘蛛……木村巴東
◎さまぐ゛な祭の始り
◎物聞山の杜鵑……星野水裏
◎是非其笑はねばならぬ話……岸邊福雄
拾貳錢　東京市京橋區　實業之日本社

○講和派の示威的騷擾

露都形勢重大=勞兵會議賛同す

露都に於ける形勢は頗る重大にして或は單獨講和を實現すべしと豫想せらるゝ形勢あり是より先き單獨講和運動は陸相ケレンスキー氏を中心とせる一派の努力によりて抑壓され爾來主戰的傾向を釀成し來りしが最近獨軍がリガに極力進出して露軍に致命的攻擊を加へんとする形勢あるに際しレーニンの一派は再び平和論を鼓吹し加ふるにライン問題の突發するありて假政府内閣動搖するに當り平和論者は勢ひを得て單獨講和を直ちに決行すべしとなし十六日より十八日に亙りて平和論者の示威的騷擾露都に到る所に行はれ又平和論者の主張に對し兵士勞働者會議も賛成の意を表しつゝあれば此の際彼等の主張或は貫徹すべしと觀測さる(露都電報)

○露政府莫斯科に移らん

革命的擾亂勃發の爲め

露國政府は七月十八日臨時閣議を開き十六日來屢々革命的擾亂勃發せるに鑑み假政府を莫斯科に移轉するの案を協議せり(露都電報)

○ウ兵々器廠占領

五千名のウクライナ兵はキーフ兵器廠を占領せるも政府の敏活なる處置宜しきを得たる爲め直に同所を引揚げ市の秩序平常に復せり(露都電報)

○露國州會の政府援助

ウクライナ州會及び兵士團は露國臨時政府に通電し内亂防遏の爲め臨時政府を援助する旨を誓へり(キーフ電報)

○參謀總長と自由行動

十九日帝國議會に於て演說を試むべしと傳へられたる獨逸新宰相は終に何等の演說をも爲し得ざりき倫參謀總長ヒンデンブルグ、同次長ルーデンドルフ兩氏は自由行動權を得べしと信ぜらる(桑港電報)

○獨新宰相就任影響

露都にては獨逸新宰相ミハエリス氏の任命は獨逸を民主化せしむる眼前の希望を絕滅せしむるものなりと思惟し居れり(桑港電報)

○獨逸前外相の希望

戰後駐日大使たらんとす

獨逸前外相チンメルマン氏は戰後駐日獨逸大使に任ぜられん事を希望せり同氏は墨國問題にて日米間を攪亂せんとせる人なり(倫敦電報)

○伊軍活躍敵軍大敗

伊國公報に曰く十八日夜敵の襲擊部隊は重砲及び機關砲の掩護の下にヴエル市の西方に於ける我が陣地を攻擊せるも我が步兵隊の警戒と我が砲兵の敏捷なる活躍により全然失敗に歸したり(羅馬電報)

○拓殖調査委員會趣旨

今回拓殖局の新設と同時に拓殖調査委員會をも設置する事となりたるが趣旨は從來各殖民地の行政に對し根本的主義方針缺如せる爲め内閣の更迭若しくは殖民地高級當局者の更迭に依りて動もすれば統治上の方針に變動を來す虞あり斯くの如きは我が殖民地統治上等閑に附すべからざる問題なるを以て將來は該調査會に於て殖民地統治の根本方針に就て研究調査を行ひ一定の大方針を確立せん爲めなりと(東京特電)

○最近露軍捕獲數

露軍七月一日以來[illegible]

◎雄基號慘事

宮城野原

[illegible]上空を通過し同十一時二十分仙臺市の上空に達し爆々たる照明彈二個を投じて[illegible]野祖に所澤に向け歸航の途に就けり(仙臺特電)

◎海雲丸

凌げる

◎家畜十九頭を

[illegible]

○都督更迭

關東

拓殖局長官決定

關東都督陸軍中將男爵中村覺氏は今回任し滿鐵總裁陸軍中將男爵中村雄二郎氏は豫備役より現役に復歸して其の後を襲ひ關東都督に任ぜらるべく又關東都督府民政長官白仁武氏は現職を辭し拓殖局長官に任ぜらるべく確定せるが右は八月一日附を以て辭令發表さるべしと(東京特電)

◎松枯蟖の驅除法

陸軍三等藥劑正 村田康太郎講演

廿二日夜開催の朝鮮藥學會例會に於て爲したる講演左の如し

朝鮮にありて多年の大問題たる松蟖蝶の被害は年々其猖威を增大し慘害の及ぶ所測るべからざる狀況なり舊政時代多年林政荒廢し山野赭禿の狀態も新政以降當局の新計畫指導其の宜しきを得著しく舊態を改め生色將に成らんとす然も破壞的暴力を逞ふする松蟖蝶の發生と共に森林の枯死微滅遂々指顧するに至る蓋し大問題たらざるべからず由來

▲害蟲の驅除法 として世に實施せられたるもの尠からずと雖も彼の人力若くは器械的に據るものは勞力多大にして之に要する費用亦鮮少ならず然も人の注意力には一定の限度あり零逸あるを免れず到底其根絕を期すべからず藥力に據るものは其效果害蟲の種類に應じて等差あるを免れず甲に有効なるもの必しも乙に有力なる能はず松蟖蝶の如きは其性頗る頑強にして從來世に行はれたる藥劑に因りては到底其の根絕を期すべからず或は著しく高價にして普く施行する能はず若くは甚しく危險にして

▲衞生上の顧慮 頗る重大なるものあり然して吾朝鮮に於ける現時の松蟖蝶驅除法としては主として勞働者をして捕獲せしめあり此の如きは一人の勞力僅かに數株の松樹を捕獲し得るのみ然も彼害蟲は自然の保護色を有し其色相樹皮に酷似し逸漏少々ならざるべし若し夫れ丈餘の大樹枝端に至りては其捕獲得て期すべからず加之此が爲め要する費用の莫大なる普く全道に亙りて之が撲滅を期する事素より不可能なり藥品としては主として除蟲菊を推奬せられありと聞くと雖も元來除蟲菊は

▲其價頗る不廉 にして若し全道松林に之を撒布せしめんか之に要する費用數十萬圓に達するや必せり然も其效果多少疑なき能はず使用法宜しきに適ひ綿密なる注意の下に合理的に施行する時始めて其効果を期待し得べしと雖も低級なる勞働者殊に鮮人勞働者の使用に因り其效果の充分なるを求むる事素より頗る難事たるべし山林原野に發生する害蟲の如きは捕獲法を行ふは容易の業にあらず又高價なる藥物を使用する事による驅除法又誘燈法の如き人力の得たるものにあらず廉價にして然も効力的確なる驅除藥を使用するを以て最も

▲優れたる方法 なりとす然らば即ち其藥物は如何從來世に行はれたる驅除藥中廉價なる藥品として砒素化合物、石油、硫酸銅、石灰、安母尼亞等其數尠なからずと雖も松蟖蝶の性たるや元來頗る强健にして上記の藥物に對し何等の反應なく是等を以てしては驅除する能はず又亞砒酸、昇汞、硫化炭素、青酸等何れも峻烈なる毒物なりと雖も使用上頗る危險にて僅に種苗、果樹等局部の使用に堪ゆるのみ山林原野の使用に適せず只僅かに前記除蟲菊粉多少の効ありと雖も費用の多額を要し廣く應用する能はざる憾あり

◎南鮮煙草耕作業者の大恐慌

煙草疫病の猖獗

大邱附近煙草耕作地に於ては大正四年及び同五年頃より煙草の幼苗又は私植苗の土際より黑色に腐敗枯死する病害發生したるも當時は單に之れを立枯病とのみ誤認せられ從つて豫防驅除の如きも等閑に附せられたるもの多かりしが如し、然るに本年に至り更に

▲同樣の病害 發生すると共に東村月背面其他に於て續々之れが被害尠からざるを以て度支部專賣課大邱出張所に於ては直ちに右病株を水原勸業模範場及び神奈川縣秦野煙草試驗場に送附し病種調査の結果煙草病害中最も恐るべき『煙草疫病』なることを確認するや南鮮煙草耕作業者の恐慌一方ならざるものあり而も其後該疫病は益々

▲猖獗を極め 最早や豫防策を施すに由なく目下應急策として該疫病に罹れる煙草苗及び周圍一尺許りの土を全部又除せざるべからざるに至れり、此の塲合若し民間煙草耕作者にして之れを等閑に附し去らんか南鮮地方に於ける煙草は殆んど全滅の悲運に陷るやも圖り難し然も該疫病は普通立枯病又は赤星病の如き觀を呈するものに非ず且つ人間に於ける

▲虎列拉病に 等しく一旦之れが病毒の感染したる時は忽ちにして周圍に傳播し同一畔に栽培されたる煙草を全滅せしむるは言ふまでもなく空氣の作用に依り傳染を媒介さるゝものなるを以て遠く他の栽培區域に病害を加ふるに至る大邱地方に於ては既にその豫防上手遅れの感なきに非ざるべしと雖も煙草栽培業は前述の方法に依り今後極力罹病煙草の除斥に努めざる可らずと(大邱)

□道內に十八萬頭からの生牛

一頭四五十圓としても七八百萬圓の財產

須藤江原道第一部長談

須藤江原道第一部長を不知火旅館に訪ふ曰く『何と云つても江原道は牛の產額が大したものです』といふ、成程曾尸毛利の古都、牛頭天皇の宮居を奠めさせたる地は牛頭の高峯高く雲表に聳ゆるところ、其の下を流るゝ昭陽江は三千年の昔何とは云ひけむ、貊の舊都を今ま春川といひて江原道廳の所在地として知らるゝ所である、あゝ……江原道と牛……此の話を聽て記者の頭に

▲强い印象を 與へられた、さて曰ふ樣『江原道は道內二十一萬餘戶の鮮人が殆んど其の家に牛を持つてゐない所はないと云つても好い位で驚くでない歟、其の二十一萬戶の住民で十八萬頭の生牛を飼つてゐるのである、是を價格に見積ると、平均一頭四五十圓として實に七八百萬圓のものである、其の內北牡の割合は四と六であるが此の移輸出力每年

▲四五萬頭に 達するのである、其他特產物として有名な蠶越煙草、之は在來種のみであるが、一年八十萬斤を產し此の價格三十二萬圓に及び、又た栗も一年約二十七萬餘石を產出し一石十四圓と見て三四百萬圓ある、更に養蠶事業も近年獎勵の結果、今まで其產額は皆無であつたのを本年は繭一萬石を產し其の値段も一石九十六圓平均で取引されたのである、漁業は一年約七十萬圓であるが、加工製造の上移輸出したら更に

▲多額な收益 があらう。而して本道の施設方針としては產業の開發を計る準備として交通路の完成に全力を注いでゐる。即ち本道を通過する道路は、咸南元山より慶北慶州に行くべき縱貫線と道內平康より忠北忠州に向ふべき一線の完成を急いでゐる、故に金剛山脈以東の嶺東線及び以西の嶺西線を造つて橫斷線を設くる方針である、要するに是の兩道路が完成したら產業の開發に著しき進展を見ることであらう

◎廣東共和政府樹立

孫逸仙氏は大總統、議會、海軍を廣東に招致し此處に共和政府を樹立すべしと提言し廣東督軍、省長は此の提言に就き考慮中なり(廣東特電)

○宣戰布告は來週か

二十四日臨時國務會議を開き南京に派遣せし司法總長林長民氏天津滯在中の海軍總長劉冠雄氏も出席し對獨宣戰案を附議したるが其の結果來週中に宣戰の布告をなすべしと(北京特電)

○宣統帝尚不安心

紫禁城内陽房殿中の宣統皇帝は過日の市街戰に心痛甚だしく發熱高かりしが最近稍々小康を得たるも未だ安心なり難く側近の者は焦慮しつゝあり(北京特電)

◎元青坡病院賣却

去る二十日開會せる京城學校組合會議に於ける決議に基き京城府元町所在元青坡病院跡(木造針丹葺平家建五十六坪六合五勺)は元民團に於て國有土地及び建物を借受け之に前記建物を增築し以つて病院に充當したるものにして民團廢止と共に其の增築建物は學校組合の財產として繼承したりしが其後該建物の利用に關し種々講究したるも傳染病院に使用したる爲め他に利用の途なく從つて近時頗る腐朽を極めしが今回京城佛敎慈善會代表者松原舍藏氏より行路病人收容所建築用に前記建物賣却方願出ありたるに依り價格五十圓にて賣却せらるゝ筈なり

◎京畿桑苗狀況

當局の調査に由れば京畿道管內に於ける大正五年中桑苗の生產狀況を聞くに生產者數八十七人にして生產成苗數合計九百五十九萬九千七百本內實生苗四百六十二萬七千七十本接木苗四百九十七萬二千六百三十本を算し桑苗の生產事業は近來著るしく進步したるものなりと

◎電信修技生

鐵道局にては今般局內より電信修技生三十名を募集する事となり二十、二十一の兩日採用試驗を施行したり

◎廣瀨主計監動靜

廣瀨經理部長は二十二日午前全州着銀杏屋に投宿二十三日守備隊、憲兵隊を視閱すべし(全州特電)

◎朝鮮藥學會例會

二十二日午後七時三十分より京城商業會議所樓上に於て朝鮮藥學會例會を開き村田、吉木、磯野、大谷、岡田等の諸氏の有益なる講演あり出席者二十名十時半散會せり

人事消息

▲廣島高等師範學校職員生徒一行十二名 二十一日夜入京原金へ
▲小原警氏(大阪府會議員) 同夜退京
▲水谷平壤鑛業所長 二十二日朝入京浦尾に投宿の筈

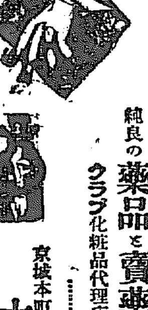
□南言北語□

獨逸が露國陸相ケレンスキー君とプロジロフ將軍を害せん爲に七百名の刺客を送つたのは仰山だ▲此の手で不可なければ彼の手彼の手で不可なければ其の手と千變萬化は由來獨逸のお手のものである▲だから之れ位の事は獨逸としてはやり兼ぬのだらう▲ケレンスキー君は今や全露國民の信望を一身に集め國家の運命を双肩に支て居る點に於て英國のロイド、ヂョーヂ君と好對比をして居る而して其の出身の徑路も餘程よく似て居る處がある▲君はタシケントの貧家に生れ苦學して大學教育を受け辯護士になつて猶太人や勞働者の味方として有名な虐殺事件を辯護し▲數年前議會に入つてから政府の攻擊に全力を注いで居た▲年はまだ三十幾歲の働盛りであるが腎臟病で頗る不健康である若し今此の支柱がポキリと折れては新露國の爲に大變だと交友も國民も衷心君の健康を祈つて居る塲合▲其處へもつて行つて獨探からも狙はるゝのであるから協商國でも大分心配でならぬ▲張勳が逃げた、何でも大雨降の晩に又た外人と共に何處かへ逃げたと云ふ噂がある▲一體張勳程身を處するに累を他に及ぼす男はあるまい▲第一清皇室に背負投げを喰はせ和蘭公使を渦中に捲き込み▲獨逸人を引き出して使嗾しおしまひには重圍を脫して何處かへ逃げ出す▲而も乍ら今になつて和蘭公使館でもオヤ〱何時の間にか張勳がオランダと濟す譯にも行くまい▲實際張勳は無理心中の强か者だ

北鮮物產 食料鑵詰
原料純良、美味卓絕、天下一品、價格抵廉、內地移入品を壓倒す、(御一報次第定價表送呈す)
成北羅南生駒町 製造元 商標(K) 濱崎商店 電話一七九番 發電略號(ハマ)又ハ(ハ)
朝鮮全道 間島全部 一手販賣元 羅南食料品組合

東宮殿下御賜 御嘉納
御大典主基齋田米精白
金銀牌十數個受領
精麥季來れり
米に好い本機は麥にも最も好し
專賣特許 清水式無砂精米麥機
東京市神田區五軒町三番地 製造發賣元 陸軍御用達 合資會社 清水商會 特長電話下谷三七三番 振替口座二〇七〇〇番
說明書無代進呈

△絕好の買場所 正貨は今や九億圓政府は、金融調節を計らんとするの奇觀を呈す資產家筋は媾和懸念の爲め一般手控へ居るも資金は何時迄固定を持續し得ず近來漸く放資を餘儀なからしめ來つたこれ頃日來端株に買の集注した所以であるこの際直ちに端株を買進め
公債株式現物問屋 東京市日本橋區坂本町十八番地
合資會社 桐生屋株式店
◎確的安全なる弊店獨得の現株賣買方は三錢郵券封入御問合次第直に即答
▼利殖の成金讀本 成功致富の敎科書也富豪學唯一の利殖的近路を詳細說明したる富豪たらんと欲せば必讀せよ三錢郵券十五枚送れ本す
電話浪花二五三番、二四五一番、五〇四八番、五二八〇番 電略登記、受信(トウケイヤマボツキ)發信(キリフ)又は(キ)



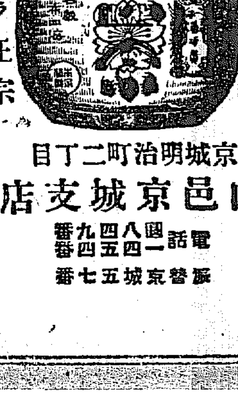
かつけよ 尾崎糠精 全國藥店に有
村井弦齋先生命名實驗證明
販賣元 東京中澁谷町 尾崎兄弟商會

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千〇五拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
支配人 西村道彥
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

外科一般 花柳病科
內科一般 皮膚病科
普通及隔離病室完備 診察夜九時迄
京城旭町一丁目(本通り左に入る) 島崎病院 電話二七三六番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗



京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 四八〇、四一四、九五四番 振替京城五七番

…二番其の他莫大の軍需品を鹵獲せり(露都電報)

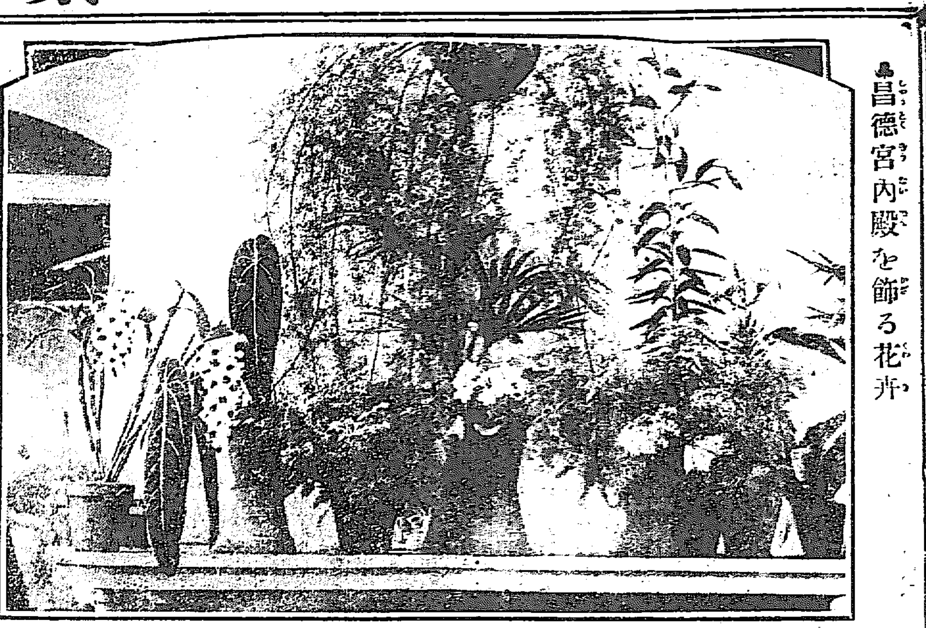
◎康有爲上海著

康有爲氏は當地に著したり(上海特電)

…雄飛號は所澤、仙臺間の大飛行を畜すべく二十一日午後六時所澤を發し霧深き暗夜を縫うて宇都宮、白河の…無事宮城野原に着陸翌二十二日午前五時五分徐々に昇騰を開始し河内師團長、山田市長其他市民數萬の歡呼…

六月十六日孟買沖に於て浮流水雷に接觸沈沒せし海雲丸乘組員は二十二日神戸に歸着せり(大阪特電)

慶北慶州郡…山面深川里へ七月二十二日の雨夜猛獸現はれ金鎭朱、趙衒後、高錫壽、裴春楠、金文奎、金成進、金文坤、李在龍、金文煥、裴…こは何れ虎か豹の所爲なるべく住民の語る處に依れば同地放牛山の奧深くに二頭の仔を連れたるを見たる…



昌德宮內殿を飾る花卉

◉秘苑に匂ふ美くしき草花

◇暑中は日課を休止遊ばさるゝも平素の書見◇
◇及び一週一度の進講の儀は止めさせられず◇

昌德宮裡に薫風吹て、夏來にけらしと思ひゐたるも早や既でに半ばを過ぎて、庭師に繁るポプラの葉の追々黒ずみては、白岳、醫峯さては仁王、駱駝諸嶺の山の端に賤の男賤の女の衣乾すてふ白妙の風情は實に上古の我が

平和なる樣を其の儘

に映し出して、ゆかしき心地せらるゝが、今や半島の天地は併合以來、既に七星霜を閲して、民は漸く善政の有難きを知り、實に十三道の隅々までも、我皇化に霑ひぬるぞ嬉しけれ。さるにても我皇室より渥りなき優遇を受けさせらるゝ昌德宮李王殿下並びに同妃殿下の御近狀を漏れ承はるに、王殿下には日頃大造殿を御居間に充てられ、近日の如き暑中は日課を休止遊ばさるゝも、猶ほ平素の書見及び一週一度の進講の儀は止めさせられず、

書見は重に歷史物に深き御造詣あり、何分にも進講の諸氏熱心に講義申し上ぐる爲め、史書と申すも決して下々の揣摩する如き簡易なる書籍に非ず、新聞は鮮文新聞『每日申報』を最とも恐悅氣に親ら御閲覽あり、邦字新聞として、京城日報、國民新聞、大阪朝日每日の記事を御附きの賛侍又は武官の通譯によりて御聽取相成り、時々意外に聰明に渉らせらるゝ御質問もある由承はる。

李王殿下の御近狀

近頃の御起居は每朝七時乃至八時には必ず起床せられ、午餐に就かるゝ一時間前より、運動の爲め近侍を相手に

玉突の稽古を遊され

理髮は專任の鮮人理髮師每日起床後頭髮の手入を進め參らせ、夜は必ず十時に寢に就かるゝ由なり。而して殿下は植物に渉からざる趣味を持たれ目下隔日乃至隔週を以て內殿を飾り參らすべき花卉は

アリアンター、グロキシニアー、ストレツトカーパス、テキシン、ストレツトカパスウロンタク、ンテー、プリムラオブクニカー

にて右の中ストレツトカーパスの種は普通小形の瀏葉樹の葉位ゐなるもの一枚を生ずる極めて小さき草なるが一鉢の値市價優に二圓內外なりと、チンチヤと云へるは臺灣に生ずる棕櫚の一種にして、アツプパラカスといふは、枝垂柳の葉を細小にしたる如き蕊の一種なり、其他

鈎金草の如きはアリアンター、グロキシニアーにして外にパ…

鹿の子百合のしほらしきが太く妃殿下の御目に止れりと承はる、王殿下は常に御傍に侍從四人、武官三人を隨へさせ、外に小間使の役目は女官二三名、每日更代にて承はるといふ。王殿下は此の頃、紗の羅を召され、朝に夕に秘苑を逍遙せらるゝ由なるが、秘苑の夏は靜かにして、珠碧の廻廊ゆるく廻り、金入石馬六百年の石壇に苔蒸す中を、時に或は

妃殿下と御同列にて

睦じ氣に步みを運ばせらるゝは親しき樣、窺ひ知る可しと近侍の去る司入は記者に物語れり。尚ほ妃殿下は常々觀理閣に起居せられ、先頃親蹟を終へられしも、昨今の日課は秋山參事官夫人より學業を受けらるゝ由漏れ承はる

◉大仕掛けの朝鮮の虎狩り

如何にしても五頭を射止めんとの胸算

關西の船成金山本唯三郎は朝鮮の虎狩を思ひ立ち部下十名獵師數十名及び朝鮮人勢子數十名を隨へ近く北鮮に向ふ筈なるが右設備として元山に本部を設け軍隊式に糧食彈藥輸送の途近補給を爲し如何にしても猛虎五頭を擊ち止め一頭は米國前大統領ルーズベルト氏に一頭は氏の私淑せる某將軍に贈り三頭は元山附近に純朝鮮式の別莊を新築し剝製として其處に收むる計畫なりと(大阪特電)

◉秘密書類を盜みし 獨逸間諜

廣島憲兵隊にて捕はる

露國陸軍大佐テハノフスキー(四二)は獨逸の間諜となり先頃露國革命當時擾亂に乘じて露國の存亡に關する重要秘密書類を盜み蹤跡を晦まし日本に逃げ込みたる形跡あり露國政府より日本に對し逮捕方を依賴し來れる由にて搜索中のところ廣島憲兵隊にて二十一日夜終に同人を逮捕せり(大阪特電)

◉露國婦人の退去命令

協商國側に不利の行動

長崎市南山手町猶太人パーシー、アブラモヴイツチ(三二)の妻露國人イヴア、コレルマン(三〇)は協商國側に不利益なる行動を爲せし爲め二十一日退去命令を發せられたり(大阪特電)

◉銃聲雲

峰を撼かしつ 朝鮮獵友射擊會

朝鮮獵友會では暑い〳〵二十二日の日曜日に獎忠壇の廣場で射擊大會を開催した、獵期を過ぎて永い間精鋭な銃器も

▽袋に納まり返つてゐるので京城を中心とした、獵友會員大小天狗の面々は腓肉の嘆に堪へず而も擊つべき鳥獸も今は鼻高々の保護期とは知りつゝも冴わた腕前に曇りの銹が生ねては一大事と朝から會場指して集まつた勇士は約四十名、何れも磨き上げた銃器を携へて來た場の中央には幾張りかの天幕を張りめぐらして

▽來賓や會員の休憩場に充て其の前方には螺旋仕掛の機械三臺を据ゑつけて中空にクレーを撥ね上げることになつてゐる、午前九時から入り代り立代りして其のクレー擊ちが始まつた、銃聲は一發每に四邊の木立や谷間に谺し、久方振りに聞く勇ましい音であつた、終日擊ち暮らしてゐたが其の

▽採點方法は クレー一個射擊(射臺)、十回初射二點次射一點滿點二十點とし又クレー連續射擊(一射臺)十回初射次射共各二點滿點四十點として一種二種合計六十點と定められてゐたが、優勝者には一等の大金牌以下夫々十六等迄あつた

◇朝鮮獵友射擊會(廿二日獎忠壇にて)

◉日報俳句會

未曾有の盛會

◇本社主催日報俳句會の盛況(二十二日南山本願寺に於て)

綠蔭なす南山下の薫風わたる本願寺の庫裡の大廣間で廿二日午後一時から本社主催の日報俳句會は開かれた兼題の『凉』三句宛の締切を二時迄と宣すれば

▲五十餘名の 俳客は須臾たらずして堂に滿ちた廣く隣の間又板の間を領して選句に移れば句稿の紙數凉しく東西南北の楣間に貼り下げられ、凉風は北より南へ俳座を吹き通す、軈て互選採點了りを告ぐれば更に『蟬』十句は五時を以て締切と定められ

▲苦吟又辛詠 稍時を移して採點の終了を見たのは日仁王山の背ろに隱るゝ正七時であつた、此日溫度はやゝ高きを示したが南山の空より北岳に雲去來し、座はツイ此春錫杖を留められた句佛上人の室であつたので一層

▲興を添ふる 處少からぬ者があつた、そして各流各派一堂に會して和氣の掬す可きものがあり、此日の會によつて數年來眠れる朝鮮俳壇の復興を確實に見るの感が一座の人の頭より頭に通せるものと見られた、尚ほ雨後

▲每月一回宛 此の會の續行せらる可きを希望し合つて各歸路に就いたのである互選の結果は明日發表することゝする(座末の一人)

◉月尾島海水浴と浴場內外の設備

附近に喫茶店を設けん

月尾島海水浴場設備に關し委員及び岡本書記長其他數名は二十一日現狀の視察をなし同夜仁川俱樂部に於て協議する處ありたるが結局設備としては脫衣所の外風呂場亭等を設へ海中は區域內の泥土を浚渫して便利を敷き小浮漂數個及び椅子、飛臺等を配置し返かつて警戒線には網を張り救助船は常に浮揚內を巡邏警戒するなど人命救助の設備に於ては萬々遺憾無きを期す可し而して警戒網內に櫓を設け熟練者は櫓上より區域外に飛び下り得る樣なし水際には機械體操を作り陸上には相撲場を設くるを以て干潮時と雖も相當の娛樂をなし得べし尚市內料理店は附近の景勝地にビヤホール、喫茶店等を出し辨當其他の需に應じ脫衣場內には猿股、水浴著、帽子等を貸附する筈なり

◉公金費消犯人

自殺を圖る

赤十字支部公金費消事件

日本赤十字社和歌山支部職員の社公金費消事件發覺し前書記竹谷倉太、鑑律義一、岸大五郎等拘引せられたるが竹谷は二十一日檢事局にて悔悟の結果警官の佩劍を奪ひて自殺を圖りたるも果さず重傷にて生命危篤なり(大阪特電)

◉元郡書記押送さる

昨年春迄忠北忠州沃川の各郡に奉職し居たりし元郡書記正村要藏は身分不相應にも數萬の富を貯へ退職後京城に居住し居たるが今回突然令狀を執行され二十日公州地方法院清州支廳檢事分局に押送されたり同人の罪狀に就いては或る重大事件の伏在せるらしく昨年或者に脅喝せられ金百圓を提供したることありて發覺せし以來一層世人より疑惑の眼を以て迎へられ居たりしなりと(清州)

◉總督府會計課員の清遊

總督府會計課員の組織する總理會員數十名は二十二日午前十時來仁海水浴本部たる仲町岡金旅館に休憩の上午食を喫し仁川稅關のランチに搭じて月尾島檢疫所第二棧橋附近海水浴場に至り中山の濟遊を試みて同日午後七時發列車にて歸京せり(仁川)

京日案內

普通一回前金十錢 番外一回前金二十錢(但名一割増し)

▲中入後中途解約中止の節は料金返戾せず ▲六行以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信料御添附あらせられ度し ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入なさ

普通

免許 十川やいとハリ 一回三十錢 狩野 本町二ノ三(龜屋橫入) 電一三二六 300

▲見習看護婦入用 南大門通り農銀裏 電話三〇六五 司生堂醫院 303

◎至急醫院を讓る 希望者は來談せられたし 姓名在社 316

▲朝鮮に關する ▲書籍は報告書に至る迄取揃有候 京城本町 電二五二七 ウツボヤ書店 225

▽貸オルガン 山葉九號 京城本町電二五二七 ウツボヤ書店 320

番外

◎學資貸費篤志家を求む 相當條件に應ず詳細は御照會を乞ふ 高等學校三部三年在學生 住所姓名在社 299

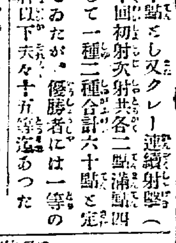
各道に有給外務員を招聘す 御希望の方は履歷書御送付を乞ふ面會は當方より御通知の上 京城本町二ノ一六本局側 東洋相互生命 監督所 312

店員入用 十八歲以上廿五歲位 小學卒業者 當簿記心得有者一名 十七歲迄小學卒業者二名 希望者履歷書携帶本人來談 米雜穀貿易商 吉野町一ノ九一 中島竹次郎 307

藥劑師至急入用 一名 京城黃金町四丁目十番地 佐々木 319

女事務員募集 一名 高女卒業程度 希望者履歷書携帶本人來談 面會午前中 黃金町二丁目 有鄰生命朝鮮支部 315

狂犬病犬膽豫防注射 入院隨意 小川家畜醫院 京城明治町一丁目 電話四二七番 317



十四金ペン尤 スワロウ印 萬年筆 一圓五十錢ヨリ 八圓迄 各文具店に販賣せり

洋書普及の爲 大割引廣告 ◎横巾三尺八寸天地一尺二寸送料トモ 五十一錢 ◎三錢郵券十七枚御送付次第直送す ◎各地支局設置希望者御申込を乞ふ 東京下谷稲荷町三丁目五三 東京洋畫協會

質 大口歡迎 商品擔保低利取扱 京城黃金町長橋町入 電話二九一六番 田村質店

品質本位 九重香油 大阪 東京 川崎製 賣捌所 到處油店化粧品店雜貨店ニアリ

時計 貴金屬 美術品製作 仁川本町 糸岐商店 電話三七〇 振替京城七一

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 振替貯金口座京城八一四番 同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

中央婦人病院 京城明治町二丁目(元漢城病院下橫通) 電話二三四〇番 院長 衣笠茂

高橋藥學博士監督の下に出來た 頭痛・神經衰弱 ヒステリー 特効藥 エクレス

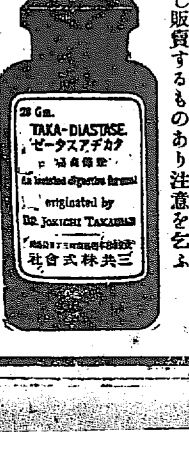
斯の如き人は先づ試みに 二十錢を投じて エクレスを試みよ 損は二十錢 利益は一生

○勉强しても事務をとつてもすぐ疲れる人 ○夜間安眠出來ぬ人 ○絶えず頭が重く氣が彌し記憶力減退の人 ○其他神經障害より起る病氣に不思議な程よくきく

定價 試用瓶二十錢 小五十錢 大一圓三十錢 全國藥店にあり

東京室町 泰昌製藥株式會社

ニーゼータスアヂカタ



本劑は粉末及錠劑の二種あり

高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり 類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ

本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す

東京室町 三共株式會社

花匠(六三)

松田竹の島人作

早見はとう〳〵嘉七方に、道具と書きかけの原稿とを、部屋代の代價として預け、そして外へ移轉するに爲た。

けれどもこれといふ行先がなかつたから、已むを得ず、牛込矢來町の大森の下宿へ往つたが、間の惡るい時は惡るいもので、生憎大森は外出してゐたから、其部屋へ通つて待つことに爲た。

嘉七方で、早見に逢つた田淵は、早見が自分の言ふ儘に爲らなかツたから、最うそれまでだと諦めたらしく、階下へ降り、茶の間でお豊さと言を齟齬して、嘉七が早見に對する

談判の濟むのを待つてゐた。愈々早見が、外へ移轉することに爲つて、嘉七方を出ると、蛇のやうに執念深い田淵だけに、何にか考慮へるところがあると見ゑて、直ぐ嘉七方を出て、見ゑ隱れに早見の蹤を跟けた。

早見は電車代も持つてゐなかツたから、矢來町までテク〳〵歩行くと、田淵も又疲れを忍んで歩行いた。

お豊は、其晩嘉七方に泊つて、翌朝逆子の京子のところへ歸つた。

早見が、大森の部屋で、其歸るのを待つてゐたが、夜の十一時に爲つても歸つて來なかつたから、其儘泊つて待たうと思つた。

此下宿屋の主人は、頗るもの堅い方で、縱令早見は大森の親友として見知顏ではあつたけれども、大森が不在だから、泊る譯に往かぬと斷つた。これは大森ばかりでなく、一般下宿人の不在の場合にも然うであつた。

これには早見はハタと困つた。外に泊りに往く知人の家もなかつたから、直に躊躇ふやうな擧動がなかつた。

早見の泊ることを斷りに、大森の部屋に來てゐた下宿屋の女房は、宛も氣の毒さうに

『此前、お客樣の御留守に、御友達を泊めたんでございますよ。然う致しますと、翌朝其御客樣が御歸りに爲つて、何故留守に泊めたと、大變御怒りに爲ツたんでございますよ。ですから其後は、甚麽御懇意の御友達でも、御留守の時には、決して御泊め申さないことにして居るのでございますから、切望惡るく御思召さないで下さいまし。』と有繋客商賣だけあつて、穩よく斷るのであつた。

『お内儀さんの言ふことは至當ですよ。』

『御顏を存じてゐる貴方ですから、大森さんが御留守でも、御部屋へ御通し申したんですが外の方だと、御留守の時には、御泊めするどころか御部屋へ御通しも爲ないのでございますよ。』

『いゝえ、妾は什麽でも宜しうございますよ。けれど、主人が堅いもんですから、眞個に御氣の毒を爲るのでございますよ。』

『併し大森は、最う歸つて來さうなものですね。』

『彼の方のことですから、何時御歸りに爲るか分つたものぢやございませんよ。』

『昨日僕のところへ來たのですが、何處かへ廻つたと見ゑる。』

『貴方の御宅はどちらでございますか?』

『家ですか!………』と早見は應へに躊躇して。

『本郷です。』

『本郷でゐらッしやいますか………ぢや電車で往らッしやれば譯はございませんですね。』

『然うです。』と早見は應へつゝ、腹の中では何處へ泊つたものかと考慮へてゐた。

京城府明治町二ノ三二(元實業會社跡)
花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番

一日一句

病臥

月の下寺の屋根見る若葉かな 鳥兒

弱腹に横へて若葉眺め入る 案山子

森茂りて暗渠口蚊吐ける 瀨村

□諧舫の一日(三)

(平壤潮水吟社例會句稿)

納涼

納涼橋に來て今し月出たり 鶴原

突堤の月ひとり領す涼みかな 宇川

帆を降して橋くゞる船や夕涼み 隈山

涼み歸へり兒等と夕闇深う門 芳宿

若葉

青葉風諧舫をちこち簇る日や 目池

青葉染む崖に月出て濟む諧舫 廣陵

船を行る白衣の人や青葉風 宇川

小島晴く靜かな朝の庭若葉 鶴原

淙に若葉や雲と縺れ居り 隈山

鯉躍る靜さや若葉に風少し 如松

若葉の奥に燈を灯せる社にや 龍泉

雨晴れて若葉に光る雫かな 小嵐山

鳴く小島今朝も來て居る若葉哉 芸窓

岸傍り〳〵に諧舫を泊む若葉風 六轉

若葉影す地に冷ゑて白う咲ける花 芳宙

俚謡正調

例會吟 投稿ノ部

其の二

兼題 涼み(涼し)

二十五點(鳴海家)、十七點(浮寢鳥)、十六點(久廼家)、十四點(浪廼家)、十三點(圓小路)、十二點(畝火)、七點(市松)、六點以下略

冷で二合半女房のお酌、暑さ拂ひの涼み酒‖四點 高野浪廼家

人の噂を蚊やりの煙に、捲いて二人の門涼み‖九點 圓小路太郎

主の心も簾も透いて、見ゑて涼しい文月夜‖五點 小島浮寢鳥

男瀧女瀧が枕に飛沫き、芸妓涼しい葭簾茶屋‖七點 川村市松

涼し戀の袂が搖れる、波よ立て立て宵すだれ‖七點 大塚久廼家

涼し千軒堤の浪に、暮れりや灯が浮く灯が動く‖九點 圓小路太郎

月も私も粿は涼し、野風呂出たまゝ冷し瓜‖九點 大塚久廼家

酌めば玉散る釣瓶の水に、濡れて涼しい雪の下‖九點 福島鳴海家

涼し橋立松吹く風に、夏も忘れる磯清水‖十點 高野浪廼家

人‖十點 坂本畝火

搖られながらも鵜の音低う、睡む夜更の涼み船

地‖十二點 小島浮寢鳥

深山涼しい清水の邊り、月に抱かれて寢る雄鹿

天‖十六點 福島鳴海家

月の幌蚊帳涼しい夢の、醒めぬ程吹く松の風

新刊紹介

▲活動畫報(八月號) 三色版希國名優マーガレットクラーク嬢二色版立花貞二郎、吾妻猛夫の新裝其他二頁大寫眞板光澤寫眞板等四十餘頁は最新封切寫眞連續劇東西名優寫眞を網羅して妖艷美麗を極め本文には初舍劇タース(冒險悲劇)三色版(南歐喜話)死の宿(新派悲劇)正義(新派悲劇)若葉の宿(新劇)三味大夫(喜劇)不動金剛丸其他活寫十數篇及び花形女優の印象、活動俳優物語り思ひ出、外國人氣俳優評判、矢樹五作の歩、ヘレン嬢冒險談、活動俳優總の辻文等二百數十頁に亘り興味津々として盡きず尚本號には受賞者一千名に及べる大懸賞活動俳優年齡當て募集あり(三十錢東京市京橋區活動寫眞雜誌社)

▲藥草輸出農產(創刊號) 藥用植物、香料、染料植物其他の研究資料たらしめん爲めに生れたるものにて實益を與へんことを主眼とせり(二十錢東京市外駒町一七八一大日本藥草栽培獎勵會)

▲少年號(八月號) 海で拾つたお大臣、起る孤て爲めに、森の迷、鏡の手帳、孤島の探検、阿かめ屋茶街君の夏やすみ其他(九錢東京市芝區谷三〇九小學新報社)

▲新少年(八月號) 孤島の怪、飛行家物、二人片輪、爆彈の秘密、朝夷三郎、物語り五郎助、痛快なる飛行旅行、少年の敎化其他(十二錢東京神田錦町三ノ六平和出版社)

▲中學生(八月號) 珍妙旅行、登山の用意、山頂の怪洞、水泳の敎、水泳初心者への注意、陸打つ波、夏の一年志願兵等(十五錢東京麴町富士見町六の一〇研究社)

▲少女號(八月號) 母か子か、お濱の起、猫の警察、寂しくれ、天の川、森の噺、郵便物、洋傘の手入れ、小さき運命等(九錢東京府中澁谷町三〇九小學新報社)

▲少國民(八月號) 大西郷の少年時代、玉屋の柿、砲火の洗禮、夕燒小話、白雪俱樂部、三ツ双の劍、水泳上注法、三人兄弟其他(十二錢京橋南鍋町一七當社)

▲少女(八月號) 七年の幸枠、大設小說、夏やすみ、金魚袋、血潮の葯迎賦、身代りに、綠の葉七夕の空を眺めて等(十六錢東京々橋南鍋町二ノ一二時事新報社)

▲雁來紅(七月號) 京城に於て發行する唯一の月刊俳諧雜誌にして俳諧論、小說、隨想、各家等の投稿なし掲載せり(五錢京城明治町一講話店內雁來紅吟社)

▲京電麻浦線の南大門を採らずして西大門を迂廻せしは實に愚の極なり併し該線は創設者たるコールブランに依り企畫せられしもの他に理由あらんも恐らく西大門は其の當時外國人集團の地區(西大門停車場も矢張り外人便宜の爲め開設されし)且つ南大門線を採らば阿峴(火葬場入口)の小坂あり若者より其の邊の智識なきも多少の工事必要なきか且つ該鐵道線路横斷の面倒あり西大門は此等の面倒なきが爲め迂回は多少我慢の結果現時の愚策に出でしならんも知らるゝ如く今日にては其の差雲泥も啻ならず彼は京城の繁榮も漸次鍾路より南大門近傍に移りつゝあり阿峴の坂とても左程の急峻にあらず若し南大門に向け一線を敷設せば其の乘客は非常に增加するならん現時の西大門線の如く常に空車を運轉すると孰れか麻浦線は仁川方面の脊椎道に付き蓬萊町より南大門邊迄は終日人馬絡繹として夜間に至る迄で往來の絶間なし彼の東端に偏せし本町線の比にあらず併し阿峴の小岡の爲め躊躇するが如きは大會社の爲め甚だ惜む所なり一時の工費の如きは直に取り返す事易なたり徒らに利益もなき迂廻線を墨守せんより大英斷を以て新設するか若し新設出來ざる時は麻浦監獄以北の線路を廢し南大門線に變更敷設せば可なり京電重役以て如何となす(乘車老人)

大阪より

青々生

利用し巨富を致す何れも相當の準備と資力を有す、無經驗無資力なりし

▲大阪築港の背面を遙かに聲の聞ゆる市岡新田を横に控から望み浪花に

氣を襲び自負心を強大ならしむるに有効なりとし同校にては許す限り登

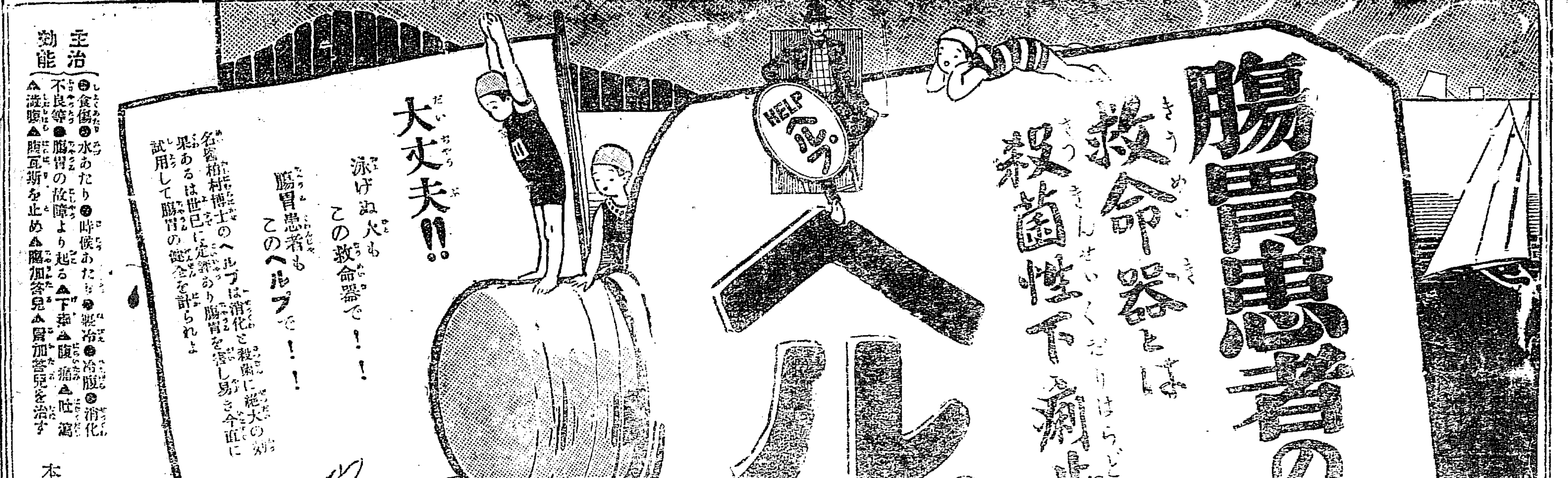
怖る、互に怖れて遂に相喰するの機なし、喜劇にも斯くの如き筋の

增しつゝあり奚ぞ知らん其差額は東京横濱邊に既に模造製品業者蚊軒あ

▲綿糸の暴騰は紡績界の一大福音なると共に下層社會の禍害なり、米は

らん事、物價の人爲的釣上げは人類の敵なり。

得べし、昔水に困りし都今は水の都なり。▲活動寫眞の取締はヒルムの檢閲の



日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽(天津)行
和捷丸 七月廿六日正午出帆
高砂丸 八月六日正午出帆
三河丸 八月十六日正午出帆
仁川港町 電話十一番 回漕店

朝鮮郵船 出帆

本社 電話長一九五三二二三番
京城南大門驛前 京城荷物取扱店 松原運送店 電話長一、一七〇番

○關門より釜山各地經由雄基行(但し×印あるは江原道各港寄港せず)
×京畿丸 七月廿四日
×忠清丸 八月五日
成鏡丸 八月九日
柳川丸 七月廿九日 釜山發

○元山より各地經由雄基行
慶城丸 七月廿九日
鏡城丸 七月廿四日
三浦丸 七月廿六日 元山發

○浦潮行(元山より城津清津經由)
平壤丸 七月廿四日 元山發

○元山長箭航
穩城丸 七月廿三日
鏡城丸 七月廿八日
成鏡丸 七月三十日 元山發

○釜山元山間
金海丸 七月廿六日 釜山發 元山發

○鬱陵島行浦項及各地經由
彦徳丸 七月 日 釜山發

○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由)
江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發

○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 七月廿五日 釜山發

○麗水行(各地經由)
海州丸 統營丸 巨濟丸 毎日 釜山發

○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
順天丸 南陽丸 三日目毎に 木浦發

○木浦より濟州島行各島經由
東廻、公州丸 西廻、慶興丸 七月 七月廿七日 木浦發

○多島海各島行
慶興丸 七月 日 木浦發

○木浦行(群山其他各地經由)
晋州丸 七月廿八日
麗水丸 七月廿三日 仁川發

○鎭南浦行(海州其他各地經由)
旗信丸 七月廿七日 仁川發

○海州行(江華島喬桐島經由)
全州丸 錦江丸 毎日 但し三十一日は休航 仁川發

大阪商船仁川出帆

○外航航路所屬航路(臺灣航路を除く)同志社御乘船の時は五分引を以て運賃切符發賣仕候

◎神戸、大阪行
×天草丸 八月三日
△臺南丸 七月廿七日 後二時出帆
×南部丸 八月四日

◎濟州、群山、横濱行
×濟州丸 七月 日後二時出帆

◎木浦、釜山、嚴原、舞の浦、長崎行
×安東丸 七月卅一日
○安東丸 八月十八日 後二時出帆

△群山、横濱行
×潮州丸 八月 三日後二時出帆
△福州丸 七月 日

◎南浦行
×南部丸 七月三十日
△臺東丸 八月 一日 後二時出帆

◎鎭南浦、大連行
×安東丸 七月廿六日
×安東丸 八月十三日 後二時出帆

◎南浦、神戸、大阪行
○臺東丸 七月 日後二時出帆

◎西湖津新浦城津清津行(元山出帆)
須磨丸 七月廿四日後十二時出帆

◎清津行(元山出帆)
宮島丸 七月卅八日後十二時出帆

◎上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 七月廿三日前五時出帆
湖北丸 八月 八日後四時出帆

御注意 ◎は郵便物の遞送及び積荷の取扱を爲す、×印は一時間前切符賣止、△印は乘船時刻一時間前にて切符賣止
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店
切符發賣所 內國通運會社京城支店
切符發賣所 仁川京城驛前 開城旅館

朝鮮共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 第十二共同丸 七月廿四日午後入港 七月廿六日前十時出帆
仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
元山代理店 春日町(電話二四七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八、二〇七) 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○君が代丸 七月廿八日後四時出帆
○大有丸 七月廿三日後四時出帆
○秀吉丸 七月 日後四時出帆
○神代丸 七月廿七日後四時出帆
仁川港町 電話十五番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 八月三日後五時出帆
門司、神戸、大阪行 立神丸 七月廿三日後五時出帆
九山、清津、浦鹽行 七月廿三日後十時出帆
和歌浦丸、立神丸 八月二日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三平丸 月日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行 第三平丸 月日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大邱清道間自動車時間
大邱出張部

大邱清道間自動車所

慶泉金泉間自動車時間
金泉織物合資自動車支部

釘本藤次郎商店
朝鮮一手特約販賣
京城本町二丁目
電話長四五番 二七七四番
振替京城 二五六番

松田式ポンプ
灌漑用 家庭用
ポンプ

南貿店
明治町二丁目八十七番地